京城日報

十日夕刊

定價 小賣一部金二錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 [illegible]
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎

第三十七回帝國議會

衆議院（九日續き）

▲最後の質問戰

長島隆二氏の質問に對し

△石井外相 登壇、長島君に答ふるに先ち外交の機密に屬することは遺憾ながら答辯するを得ずと前提して帝政延期に關し三國と協同したるは帝國と同一希望を有する各國と歩調を一にしたるのみ又た警告の時機を失し居らずと信ず單獨不媾和加入は三國の希望によりたるものにして之れに由て何等の義務を負はず從來不透明なりし各國の關係を明瞭ならしめりと依然要領を得ず陸軍所管に關しては陸相の出席なき爲め

△眞鍋參政官 登壇、御質問の主旨は重大なれば陸相出席の上に延期せられては如何と諮り長島氏は之れを諒し次で

△加藤海相 登壇、製艦費は年率を以て計算したるを以て鐵材騰貴するも心配することなしと答へ長島氏は更に海軍に追加豫算を提出することなきやと質し海相は追加豫算は提出せずと答へて降壇す次で

△森田小六郎氏（中正）登壇 日米間には新協約と稱する竊窟なる協約あり之れが爲め日米間の親善を保つ能はず又たは印度人に對し追放處分をなせしが如きは日印間の貿易に大打撃を加ふるものなり追放の理由如何と切り込みたるに

△石井外相 は之に答へて曰く日米間の新協約に由て兩國の親善を損ふものと思惟せず故に之れが撤廢の意志なし印度人を追放に決したるは戰國にありて敵國獨逸と款を通じ我に不利なる行動あるによると不得要領の答辯をなして降壇するや

▲野黨側の肉薄

政友會の猛者

△松田源治氏（政友）登壇現内閣は留任に際し口を聖旨に借るも之れ陛下の聖明を掩ふ不忠の臣なり現内閣は進退の責なきや否や大浦内相は國務大臣として議員の買收をなしたり此罪惡に對し他の閣臣は進退の責なきや又た大浦内相の不起訴に關する尾崎法相の辯明は詭辯にして風教を茶毒するものなり當時議員買收係りは農相の地位にありし大浦氏なりし事は林田翰長の證言に明かなりとて豫審調書を大音に朗讀し大臣席に向つて獅子吼したれば野黨側は大喝采を博し更に松田氏は勵聲一番乃木問題、選擧干涉問題に論及して降壇す此の時議場は騷然たり島田議長は再三警告を發し

△一木内相 登壇、大浦氏は内閣の政策を推行するの任にありしも偶々不幸にも其の行爲當を得ざりしなり而も大浦氏の不當行爲は内閣の責に任ずるものに非ず、乃木家の襲爵は宮内大臣の職權に屬し國務大臣の關する處に非ず又た總選擧は大體に於て良好に執行せられたりと云ふべし如何に小數者に不當行爲ありたりとするも其等は既に其々處罰せられたりと苦しき答辯をなすや何等猶豫すべき野黨側よりは盛に罵聲の野次を飛ばして議場頗る騷然たり

▲尾崎法相論駁

△尾崎法相 は此の間一木内相と代つて悠々登壇し松田君の質問は元田、關兩君の質問を繰り返したるに過ず從つて答辯の要なきも重復を厭はず答ふべしと冒頭し大浦氏を不起訴となせしは其眞實の悔悟により裁判するものに非ずと認め不起訴となしたるものにして斯るもの起訴は毎年六七萬件あり松田氏は大浦氏の記錄をあげて閣員全體の罪なりといふも此げ記錄の一部に過ぎず若し全體の記錄を提示して質問さるゝ處あらば余も亦た之れに答辯すべし而して機密費云々とは大浦氏の機密費なるべし余の言責に關しては從來と何等變る所なく今日に於ても從來の心を以て自から奉じまた人を敎へんとするものなりと舌鋒鋭どく論戰大に努め其の武者振頗る振へり論じ終つて降壇するや議長は質問通告者多數にて制規の時限に演了する能はざれば一時休憩して更に繼續すべしと告げ五時四十分休憩

▲休憩後の再會

午後七時再會劈頭福田又一氏（同志）日程を變更し政府提出大正四年度田租第一期分延納に關する法律案を附議すべしと提議し異議なく藏相提案の理由を說明し議長指名十八名の委員附託、夫れより直ちに休憩前の質問に移り

△鈴木梅四郎氏（國民）登壇今日の經濟狀態を以て最も外債償還の急務なる所以を外國の例を引證し前藏相は先きに之を借替となすべしといへるも今日果して實行し得る見込みありや現藏相の答辯を求む又我國債を所有する歐洲諸國は今日の場合我が國債を所有する餘裕なく外債逆輸入の方法を講ずるやも計られず此際に處する政府の準備如何次で行政整理廢稅の急を說き論鋒を海軍に轉じ現内閣は先に八八艦隊制を認め次で八四艦隊制に變更したる明年度豫算に僅かに四千萬圓を計上したるは是れ豫算の通過を速かならしむる變態にあらずや更に鉾を再轉して法相に向け法相前日來の答辯は誠意を缺ぎ挑戰的態度を執れるは尾崎氏の爲めに惜むべしと述べて降壇するや

△武富藏相 登壇外債償還に對しては政府は勉めて償還方法を講じつゝあり行政整理は從來數次行はれたるを以て最早實行の餘地なしといふの外なし又た廢減稅は今日の狀態を以てしては到底實行し能はず豫備費は成るべく多きを望むも今日の場合希望を容るゝの餘地なしと述べ

△加藤海相 交つて登壇余は八八艦隊を理想とし八四艦隊制を以て滿足といへることなし何等かの誤解なるべしと簡單に答ふ此時議長は法相の登壇許可を忘れたれば野黨より議長の所置を非難し議場騷然林氏は自分は後刻に讓るべしとて漸く鎭靜す

△尾崎法相 登壇余の答辯を以て誠意を缺ぐものといふは邪推も甚し例へば鈴木君の質問は誠意を缺ぐといふが如しと應酬し大浦氏を不起訴とせるは前日來再三陳べたるが如しとて松田氏に答へたると同樣なる答辯をなすや堀切善兵衞氏（政友）は自席に於て起つて尾崎君の言は人格侮辱なり宜しく取消すべしと叫び政國兩黨之れに應じ與黨之れに應酬し議場又々騷擾を極む續て

△林毅陸氏（純無所屬）登壇、現内閣の聖旨濫用、外交失敗を指摘し痛擊して降壇するや内相外相之れに答へ續て伊東知也氏（國民）齋藤珪次氏（政友）小久保喜七氏（政友）等の内治外交に關する種々の質問應答ありて十時過ぎ散會せり（東京特電）

—電報輻輳延著—

雜報

◉仁川市場の活況

仁川十一月中の輸移出高合計九十六萬二千圓輸移入合計百萬九千七十九圓にして之れを前月に比較するに輸移出に於て五十萬七千六百八十七圓を增加し輸移入に於て二十八萬二千七百七十八圓を減少せり時節柄大豆の輸移出漸く增加し新米の出廻りも弗々加はりたる爲め輸移出市況は

▲頓に活況を加へ殊に十一月より米穀輸移出檢査の施行せらるゝ等あり古米は檢査施行前に大部分の輸移出を終らざるべからざりしと同時に相場も月初め改良米九圓二三十錢見當のもの九圓七八十錢を呼ぶに至り旁々内地移出激增し偶々當地定期受渡米の大移出も加はりたる爲め港頭未曾有の盛觀を呈したり御大典奉祝後の市況は一時閑散に陷りたるも米價は内地鎭入後不足の爲次第に昂騰し月末には十圓六十錢を唱へ大豆も一圓方を騰貴し七圓前後に暴騰し跡益々高氣配を見越し内地阪神

▲東京手筋の注文頻到し各貿易商は手持品を以て之れに應ずると共に奧地よりの買出しに狂奔するの狀態にして濱市場は穀物の山積を見るに至れり此等約定品は船便毎に積出を爲すと雖も各港の回著も仁川と同樣激增せるを以て寄港船舶は何れも船腹の欠乏を來し積荷意の如く運ばず月末には遂に在庫穀物十萬七千餘圓の堆貨を生ずるに至り關係商人の金繰は繁忙の極に達し各銀行の貸出は著しき增加を來せり一方各精米工場も亦同樣相場引合ふ爲め注文續々入込み中には向ふ二箇月位の全能力を豫約せるむきもありて此れが精搗に原料

▲買入れに忙殺せらるゝの狀況を呈し各精米品共全力を擧げて精搗に從事しつゝあり工業方面にては製鹽業も亦漸く其盛季に入り山東鹽の輸入目覺しく原料潤澤にして各製鹽所共晝夜兼行にて旺んに生産しつゝあり牛皮其他の雜品も亦引續き内地注文相場手堅く移出依然盛にして之れ亦相當資金の需用ありたり輸移出市場の活況に連れ輸移入市場も亦地方購買力增加し一方冬物必需期に入れることゝて地方への賣行盛にして前月來の市場堆貨も減少し移入も相當加はりて市況は前月に引續き活況を繼續せり之を要するに全月を通して市況活況を以て終始し金融は繁忙を加へ各銀行の貸出は激增し金利は强含みを以て越月せり

◉農校長水原行

各道農業學校長會同は八日終了せるより九日は弓削學務課長引率の下に午前八時三十分南大門發汽車にて一同水原に赴き本田場長の案内に依り模範場、原蠶種製造場、農林學校の各事業を視察し宮原技師の養蠶、武田技師の植物の變種、向坂技師の稗、赤米の研究、小麥の胡麻病、中田技手の野鼠の驅除研究等に關する講話を聽き夕刻同所より各自歸任の途に就けり

◉商議總會期日

京城商業會議所議員選擧は既記の如く十五日午前二級午後一級の選擧を行ひ當選者に對しては即日會議所より當選告知書を本人に送達する筈なるが議員の資格は當選後三日間即ち十八日を以て確定する筈なり故に會議所は十九日又は二十日第一回の總會を開き正副會頭其他役員の選擧並に大正五年度豫算を附議し當夜續て新舊議員の懇親會を開催する順序たるが會頭には既報の如く原田氏副會頭には關趙秉泰兩氏當選疑なかるべし

◉定例長官會議

十日は定例局長官會議當日とて山縣政務總監以下各部長官、局長、長官代理、警務總長代理等は午前十時より總督府第二會議室に參集、通常政務に就き打合せの上正午散會したり

◉國澤副總裁歸期

内地より歸任の途入京、朝鮮ホテルに滯在中なる國澤滿鐵副總裁は公務の都合上未だ確定せざるも多分十一日朝南大門驛發汽車にて歸任の途に就く可しと

人事消息

▲井口省吾氏（軍司令官陸軍中將）十日午前内地より歸任
▲須賀精氏（高級副官陸軍中佐）同上
▲塚越禮藏氏（遞信局釜山出張所長）同上歸任
▲岳岡完氏（東京支那公使館附武官）同上北行
▲武田近次郎氏（大阪商船仁川支店長）九日内地より釜山を經て仁川入
▲齋藤音作氏（營林廠長）同上北行
▲伊加賀矢六氏（釜山專賣商業學校長）同上歸任
▲鳥居龍藏氏（理科大學敎授）九日江原道より入京大和町二丁目九十五番地澤氏方止宿
▲入江海平氏（理財課長）十一日出發
▲永井技師（在仁川土木局出張所）港灣に關する事務打合の爲め十四日出京
▲弓削幸太郎氏（學務課長）九日水原に赴き即日歸任
▲國枝技師（土木局）平壤慈惠醫院病室新築工事設計の爲め九日平壤へ
▲岩井技師（土木局）釜山中學校寄宿舍新築工事檢査の爲め九日釜山に出張
▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）全州より十日歸京

歐洲大戰亂

▲獨逸宰相演說を試みん

アムステルダム來電に據れば獨逸宰相は帝國議會に於て演說を試むる筈なるが公衆は多大の興味を以て之れを期待し居りて傍聽券賣買價格頗る騰貴せり宰相は當日巴爾幹政策及び媾和の見込に就き論ずる所あるべし氏は豫め大本營に獨帝を訪問し演說の内容に關し打合せをなせり（倫敦電報）

▲米獨國交斷絶か

華盛頓來電に據れば消息通の間に於て米獨兩國の外交關係が斷絶せんも知るべからずとの說あり之れが爲め米國の獨逸に對する爭議は一般に其の成行を氣遣ふこと切なり（倫敦電報）

▲米國對墺太利要求

華盛頓來電に據れば米國政府は墺太利に對しアンコナ號擊沈の不法行爲なるを承認し且つ米人死亡者に對し賠償をなし斯の如き行爲を再びせざる旨宣言せんことを要求せり（紐育電報）

南言北語

米國から獨探の隊長ボイエット大尉とパペン大尉とを召還しろと獨逸に云つてやつたら▲何にッ馬鹿云へ何故に召還せよと云ふのだ理由を云つて來いと逆捻ぢを喰はした處は如何にも能く獨逸の惡黨振りを發揮して居る▲何時も此の手の逆捻ぢを喰ひつけて居る米國が幾何お人よしでも今度は怒らずには居れまい▲紐育ではトリビユーンを始め諸新聞が一致して今度こそ議會で大統領に米獨國交斷絶を要求せよと論じて居る大に贊成だ▲が、ウキルソン君は此の十二日が黃道吉日で花嫁御寮のお輿入れだから其の樣な物騷な事はまあ〳〵▲モーニング、ポストへ支那通のブランド氏は寄書して曰く天津や漢口や牛莊の獨逸專管居留地は事實上獨逸の植民地である國際法上支那の中立を侵害するから沒收しろと▲之れには大に贊成するね支那に於ける獨人の陰謀を打破する必要上大にやるべし何の遠慮が入るものか善は急げだ▲眞ツ先に袁總統を大皇帝と稱し奉つて帝政派の巨頭を以て任じて居た奉天の段芝貴將軍も▲愈々上海で革黨勃發と來たから慄ひ上がつた▲其へ以て來て先日其等の一員から狙擊せられた事もあるが上に革黨の一部が續々滿洲へ入り込むなんて口の惡い手合が脅かすものだから風聲鶴唳でビク〳〵ものだとはチトお似合申さぬ▲革黨と云へば上海騷亂の主謀者は支那政府では何海鳴だと見て居るらしいが陳其美が事實らしい▲陳は頗るの好男子でまだ三十七歲の壯年一見女の樣の風丰をした男だ▲處が此の先生支那人には珍らしい程腹が出來て居て唐人に云はすれば膽如斗と云ふ處だ▲第一革命の時は單獨上海機器局へ飛び込んで已れを擊つたら火藥へ火をつけるぞと唯の一喝で機器局を占領した處などは他の御連中の眞似の出來ない處▲其後袁總統が懐柔しようとすると渴しても盜泉の水は飮まずと高官大領を弊履の如く拋つて飄然北京を立つた快男子だ▲彼は袁總統を斃す事を終生の仕事として居るらしい袁氏の方から云へば頗る厄介な一怪傑である斯ふ云ふのが跳ねくり返すから袁氏もやり切れまいテ

開店披露
景品附大賣出し

自十二月五日より 至三十一日まで

弊店儀

今般本場秩父銘仙及京襟を原産地より直移輸入原價同樣を以て各位の御滿足に應じたく開店仕り候條賑々敷御一覽の爲め御來駕の程伏而奉懇願候
尚ほ開店披露として壹圓毎に空籤なし左の景品進呈可仕候

景品目錄

一、東京桐簞笥　一、大姿見
一、茶棚　一、桐手簞笥
一、鏡臺　一、宜德火鉢
一、重箱　一、鐵瓶
一、茶器　一、火鉢
一、羽二重肩裏　一、本場秩父名仙
一、バスケット　一、半襟
一、メリヤス
其他いろ〳〵

京城本町一丁目（郵便局前）
丸木呉服店
電話一三四二番

感恩佳話

宏大無邊の天寵に 民草の霑ふ樣はも

村井京城第一憲兵分隊長は今回楊平楊州兩郡の一部を巡視して感激に堪へない物語を耳にしたとて語て曰く

▲盲人數里の道を 遠しとせずして 祝賀會に列す

楊平郡江上面延陽里六統六戸尹敎範方同居盲人姜圭會といふ五十餘歳の一老人は去る十一月十六日同郡の郡廳で官民聯合の御大典祝賀會が開かれるといふことを聞いて『自分は盲で且つ赤貧の身の上ではあるけれども此前古未曾有の御大典は國民を擧げて祝賀す可き日である、面長からは何んの通知も無いけれども自分は出席せねばならぬ』と數里の道を一本の杖に辿つて郡廳に來り宴會費に寄附したいとて一圓出金し祝賀宴會にも列席して大滿足で歸村した

▲天盃を拜觀せん として村民堵をな して群がり來る

又楊州郡芼阜面鳥安里申佐といふ八十八歳の老人は元韓國政府の軍人で歩兵參領(少佐)であつた人、夫婦揃つて當年八十八歳の高齢である所から今度兩人共養老天盃と御下賜金を拜戴するの光榮に浴した、同人の孫は以前憲兵補助員であつた關係から老人は自分が地方に出張すると必ず面談するのを一つの樂しみにしてゐる、今度も色な話をした、老人の曰く『韓國政府時代には國王還暦又は立太子、御結婚、御誕生の祝賀のある節は高齢者に位階又は饗饌を賜つたこともあるが、當時は調査粗漏の爲め國內一般に遍く行渡るといふわけに行かなかつた然るに今回の御大典には誰を聞いて見ても調査洩れの無いのは實に聖恩宏大この上無いことで余等の如きも長命したればこそ斯かる大典に會ひ得たるものなれば兩人の拜受した金員で祖先の祭典を行ふ計畫である』と尙ほ此頃は每日天盃を拜觀せんとて附近の村落から集つて來る人が絶えないさうだ。

▲老婆下賜金にて 麴を買ひ酒を釀 して洽く光榮を 村民に頒かつ

九十九歳の高齢者楊州郡渼金面一牌里の柳春伊といふ老婆は高齢者の多くが郡廳や面役所に出頭する時轎に乘つたり代理の者をして天盃や養老金の御下賜を受けさしたにも拘らず此御大典の有難き御思召に對して轎に乘るなどは禮を缺いた行爲であると自分は倒れるまでも歩いて行くとて長孫に手を取られ一里半餘の道を殆んど一日がゝりで面役所に出頭して天盃と御下賜金とを拜戴して歸宅した而して此の恩澤を自分一人で專らにするに忍びぬとて御下賜金で麴を買ひ酒を釀造して汎く村民に分けたといふことだ、之れ等は何れも朝鮮全體から云へば一部分の話であるが新附の民草が如何に皇恩の洪大に感じ新政の餘澤に心から敬服してゐるかを窺ふに足るものであると信ずる

申されけるは

敵は遠きに何事ぞ落伍頻々

■商賈が忙しい■年廻が惡い■つまらない■見込が無い■義太夫の稽古で暇が無い

京城商業會議所の評議員選擧は從來にない大競爭を見るであらうと期待されたが果して定款認可と決した本月四日頃には內鮮人合せて一級十五人二級約三十人內外を算し恰度戰國時代の群雄蜂起と云つた樣なものであつた▲所がどうした風の吹き廻しか其後段々と人數が減り八日頃となつては一級は唯得票の多寡を爭ふ位で寢て居ても當選すると云ふ樣になつた▲それても迫に二級は尙ほ內地人側に十五人からの候補者があつて夜を日に繼いで各所に出沒すると傳へられて居たが其の後幽靈の樣に何時ともなしに影が消えて終つたのは心細い▲岩城磐君は商賣が忙しい、近藤修君は年廻が惡い、中村再造君はつまらないと云ふ▲さうかと思ふと藤富國太郎君は目下義太夫のお稽古中で運動する閑がないから止めるといふ義太夫こ選擧を一處にした所は何うしても藤富式▲結局內地人側は十二人に對する十三人の候補者で一人しか落武者の憂目を見ない割だ▲所で吾こそ見ん事中原の鹿を射止めて呉れんずと踏留まつた十三人は何れを見ても根據は頗る堅固ぢやらうとのこと▲一級の最高は無論原田金之祐君であらうが二級は古城龜之助君か首藤定君かと云れて居る▲古城君に『君の得票が一番多からうとの豫想だが』と云ふと同君長火鉢の緣に凭れながら『フフン………』

此フフンが却々喰へないんださうだ▲朝鮮人側の二級許りはそれでも可成景氣があるらしく金漢奎、扈根踏、崔萬熒、宋宅洙の諸君が互に鎬を削つて居る▲十日の朝刊に崔君の年を八十一歳と書いたが實は當年三十九歳の血氣盛りだと同君の知人から故障の申込があつた▲併しあの年齢の調査は京城府の民籍係の帳簿から調べたもので崔さんは開國四百四十四年八月二十七日生れ、日本暦に換算すると天保六年で當年正に八十一歳の筈▲一體朝鮮人程年齢の不正確なものはなく高齢者調査の時でも當局は餘程苦んだものだ▲**餘り大した間違でもないがザット四十許り間違つてゐる**▲支那の東方朔が九萬九千年生きたと云ふのも大方これ位の間違だらう▲ト書いて居る所へ京城商人組合として釘本、古城、天日、林田、梶原、廣江、佐野の七君に投票す可しと云ふ投書が舞込んだ▲いよー何れもさま…▲これで擱筆と思つて居る所へ龍山より飛報あり大和、執行の兩君は九日夜辭退して藤田安之進君が又た出ることになつた▲出たり引込んだり又出たりハテ斯うなると……

何故暖いか

此冬は凌ぎ易い

仁川觀測所員は本年初冬の氣候に就き語る、本年は例年に比べ寒氣の襲來著しく遲延の傾向がある今各測候所の報告に依り十一月の氣候を考ふるに平均氣溫は南岸の攝氏十二度强と國境中央部の氷點下三度との間にありて平年に比べ各地共

■**著しく高溫** 度を呈せるを見る即ち京仁以南は其差二度內外に及び以北と雖も亦概ね一度を超え比較的溫暖であつた昨年當季に比べるも一般に一度弱の高度で更に日々の最低氣溫の平均を見ても略右と同樣の趨勢を示してゐる而して京仁地方及び其以北にては例年既に十一月中旬から下旬に掛けて最低氣溫氷點下五度以下に降るを例とし尙同月末には氷點下十度に垂とすることは稀でない然るに本年は北部を除いては京城に於て漸く廿日に至て氷點下六四度を見たのみである尙初霜の起日に就て考へるに平年に比し

■**一般に晩れ** てゐて其差京仁以北は概ね十四日乃至十九日南部は三日乃至五日の間にあり又江河の結氷期に至りては國境の二大江は共に十一月末を普通とせるに本年は未だ結氷の報告に接しない何れの方面から見ても寒氣の募ること例年に比して甚だ遲い事は爭ふべからざる事實であると思ふ抑も冬季鮮地方に襲來する寒風の源泉は遠く蒙古、西伯利亞方面にあるのであるが初め夏去り秋漸く深く日射の勢漸次衰へて下層の空氣が冷却し始むると大陸の內部に於ては沿海地方に比べ一層冷却速きが爲め

■**空氣が濃密** に積て所謂『大陸高氣壓』なる一區域を劃するに至るのである其高壓部は寒冷なる空氣の凝集堆積したもので言はゞ『冷氣の湧源』とも稱すべく此處から絶えず四方へ流出せしめてゐるのである而して該高氣壓は晩秋に及んで漸次發達するに從つて寒氣は次第に加はり行くのであるが此高壓部は日射の盛衰天氣晴曇の變化低氣壓の發生去來等幾多の原因により時に消長があるが其の大に發展して一端を滿洲朝鮮に延して來り或は遠く一部を分派して東方に移動して來ると此等の地方は

■**肌を裂くの 酷寒** 感あるに至るのであるが若くは低氣壓の發生すると共減退又は逸走し去るか若くは低氣壓の通過するものがあるときは寒氣は頓に衰へ暖を催するのである之れが朝鮮の所謂三寒四溫の俗說をなす所以である如上の理に依り本冬寒氣遲晩の因は主として前記大陸高氣壓のまだ充分に發達せないのに歸すると云はねばならぬ尙低氣壓の中島附近を通過するものが比較的頻繁であつたのと右高氣壓は南滿方面から中國に迫り其の多かつたのも本年の暖氣の一因と見る可きであらう

■**兎狩り** 總督府會計課では日曜を卜して神武門外の森林に兎狩りを擧行した、總指揮官は會計課長で理財課郡山課長外課員は勿論客員の入江氏之れが客將となり課員は勿論給仕、小使まで能ふ限りの勢子を繰り出し卷き立て狩りたて遂に四頭の大兎と二頭の老狸とを獲た此處に揭げた寫眞は當日の記念撮影で近來稀有の大獵何れも大ニコ〳〵である、但し其內の老狸は二頭とも死後數日を經た臘埋であつた事は內證〳〵

戀しい故鄕へ

お雪は歸て來る

米國の富豪故ジョージ、デニソン、モルガン氏の未亡人にして元京都祇園の藝者お雪は戰爭終局後京都に歸國すべき旨近日京都の實家へ手紙來りたりと(京都電報)

印度の山龜、樺太の馴鹿

動物園新來の珍客―冬籠いろ〳〵

昌德宮動物園の頃日はお馴染のライオンや河馬やお猿さんまで何れも達者でお機嫌好く居られるが何分熱い印度や寒い樺太からの

■**寄合世帶の** ことてめい〳〵京城の冬を寒がるものや熱がるものなどのあるのは止むを得ない、中にも印度の大象や亞弗利加の河馬君や馬來半島のお猿さんなどの如きは何れも非常な寒がりであるから此の頃は部屋に溫度の高いスチームを通はせて居るが一方樺太の馴鹿君や駱駝の面々になると

■**樂しい冬が** やつて來た喫と いふ顏付、滾雪などは一向平氣である、又昨今新來の珍客には印度の山龜や樺太の馴鹿亞弗利加鸛鶴などの連中も居るが其の他今年は動物園で產れた新家族がなか〳〵に多く先づ獅子、河馬、狸、高麗穴熊、猿などの連中は何れも可愛らしい子を產むで居る、獅子は京都動物園產れのものだが今では京都の

■**親獅子より** も美しく本年五月中雄二匹雌一匹都合三匹の仔獅子を產むでからは親子五匹共に頗る元氣である、親獅子は每日朝夕の牛肉を喰べる外に一週に一回生きた山羊の御馳走に預り子獅子は又牛肉の外に每朝生兎一頭宛を喰べる、雌獅子は容易に人に馴れ難いものだが雄獅子は早く人になつくといふ、次ぎに亞弗利加產の

■**河馬も亦珍** らしく仔を育て 本年八月末に產れた仔河馬は昨今丹豚位ゐの大きさとなり食物は野菜などを貰つて居るが頭目では齒が生えかけたから却々手當に骨が折れるといふ、雌河馬は又非常に子煩悩で始めは動物園の人に向つて來たが今では全く溫順しくなつた、それから新嘉坡の尾長猿は印度產の亭主との間に子が出來て芽出度く先月廿日に

■**安產したが** 何分にも混血兒なので名を調べるに困りますとの話 子猿は黑い毛皮に皺くちやの顏で親猿の腹に抱き付いて居るが部屋には一昨年產れた一匹の兄さん猿もあり其の他狸は相變らず嬉ぶつた顏色でコツ〳〵やつて居るが子供は三匹の內二匹死んで頃日では好きな腹鼓も打たないらしい

■**總じて狸は** 日本內地のも朝鮮滿洲西比利亞のも同一種類である相な、お次ぎに高麗穴熊君はこれも三匹產むで二匹死亡し頓と冬枯れで不景氣でげすといつた顏、鷹も卵を孵化しかけたがしくじつた

四十八貫目の大猪を獲る

忠淸南道公州郡反浦面松谷李顯周は一日公州郡八峯山に入り北機を寵ひ居りし處一週間目に遂に四十八貫の野猪一頭二十貫餘の野猪一頭を斃殺せり尙本年に入り八峰山隣谷寺附近の山岳にて既に十一頭を獲たりと

教會堂の煖爐より一大事

十日午前六時半京城貞洞耶蘇教會堂室內煖爐の煙突より火氣飛散し天井の貼紙に火移りてあはや大事に及ばんとせるを逸早く家人消止めたるため事無きを得損害なかりき

朝鮮人の猩紅熱は危險だ

手當をせぬから其死亡率が多い

京城の猩紅熱は依然として根絶せず吉野町二丁目淺海方息淺海博通(七)南大門小學校一年生も八日發熱十日午前九時半檢診の結果猩紅熱と判明し目下加療中にて一方同校にては十日消毒を勵行したり然るに猩紅熱患者に就き其發生と死亡率とを對照するに大正三年度中京城本町署管內に發生したる全數は百五十八名にして內死亡したるもの四十名なりしが本年度は十二月九日迄の現在にて發病百七十八人の內死亡せしものは僅かに三十一名なり因つて其治療成績に於て本年は昨年より遙かに良好なる結果を示せり尙右の內昨年度に於て鮮人の猩紅熱に罹りたるもの七名ありたるが彼等鮮人は極めて危險の狀態に瀕せざれば手當を加へざる爲め七名に對し二名の死亡者あり本年も十一名の發生患者中五名の死者ありたる點より見れば手當次第にては甚しく恐るゝに足らざるの結果を呈せりといふ可し

猩紅熱撲滅の隊署長會議

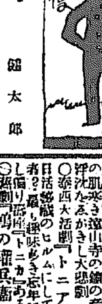
近來京城市內にては猩紅熱漸次蔓延の兆あるより是が撲滅計畫の爲め十日警務總監部に於て市內各署長參集の上協議する所ありたり

有樂館の活動寫眞
年末興行として十二月十一日より左の大寫眞提供
◎舊劇 德川天一坊 全五十場
◎新派悲劇 鳩の家 全三卷
◎泰西活劇 黑眞珠 全三卷
◎泰西悲劇 獅子の嫁 最長呎
本町壹丁目 有樂館 電話二六六番

無錢遊興二人男

石川縣生れ金澤市泉新町當時市外高陽郡陸芝面往十里崔某方居石工瀬戶川榮太郎(三二)及び香川縣綾歌郡松山村當時往十里前同居石工中塚留吉(二七)の兩名は七日午後十時頃京城新町相生樓に登樓し大盡風を吹かし椎尾祖鐵方に於ても同家の藝妓を揚げて遊興し酒肴を命じたる結果勘定書を突きつけられてお定りの無一文のことて樓主より告訴せられ兩名共本町署に於て取調べらる

ところ自慢



△舟橋町

鐵太郎

私が此舟橋町に來たのは丁度六年前で、內地人なら唯の一人もなく、隨分淋しい處であつた、見れば變るもの五年の間に隣り向ふも內地人の家と變つて

□今春からは電車も□ 其中央を貫いて運轉する、雜貨屋や魚屋が日に十四五人も廻つて來る、兩班と平民の間に位して居る中人は此邊から河隣、水標橋、長橋附近に迎つて、水標橋川線に沿うて住宅を構へたものだそうな、此中人の階級の鮮人は代々譯官を勤めたと云ふことで、子爵の高永喜さんなども其中間で此邊の住人であつたらしい、京城

□市區改正の豫定圖□ を調べて見ると舟橋町は、あの所謂騎隊旗塑の街道の眞中に當入る譯で、黃金町通の開通は大に發展を促され今春本町線の開通で本町筋と昌德宮動物園や總督府醫院を結び付け、朝鮮草界の驅れ東亞煙草會社は目と鼻の間に立つて本町筋から此方面に往く人は是非通らればならぬ處となつた、水標橋の川を渡れば鍾路通り到心寺がある

□梨峴 東大門市場□ は鮮人の取引の盛なる南大門市場以上たと言はれて居る、帝の方黃金町通を隔てては京城唯一の歡樂場である黃金遊廓がある、川向ふの東封家令命基君は京城を取卷いて居る田畑の大部分を持つてゐる、朝鮮靴の上等なもの大概此邊から出る

演藝案內

有樂館 本町一丁目 電話二六六
十二月十一日より新寫眞提供 ○實寫ボルドカルの風景○泰西喜劇敎育時代 ○泰西喜劇馬鹿大將オキッカイの卷▲日活會社最近の撮影おなじみの尾上松之助一座出演○舊劇大岡政談德川天一坊○全五十場▲佛蘭西ゴーモン會社作○泰西探偵大活劇黑眞珠全三卷▲評判の日本連續劇に大好評を博したる佐藤紅綠氏の大傑作新派の花形藤澤淺二郎根達勢外大一座出演○新派大悲劇鳩の家▲米國ヴイタグラフ會社作泰西悲劇ライオンの嫁最長呎

大正館 櫻井町 電話八七三番
十一月七日より新寫眞提供 ◎實寫アイスランドの風景 ◎喜劇伯父の奇計 ○滑稽田舍者の初奉公 ▲佛エクレール會社傑作○泰西大活劇秘密の書類(原名男爵エラー)全三卷 今堀習水長講演 ▲尾上松之助一派出演 舊劇實錄仙臺萩 義太夫竹本男太夫出演中餘○探偵奇談探偵の情け 最大長尺 ▲立花鯛根一派出演○新派悲劇忍び駒 全三卷二十五場 意氣あり意地ある京城の藝妓譚は是非見逃す可からざる近來問題の大寫眞也

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 十二月二日より全部差換 ●歐洲戰亂報●滑稽牛日ホテル●滑稽ルニーの人命救助 泰西正活劇酒の罪 全三卷●來れり天活會社が最近の大作品にして三都到る所に於て大好評を博したる 舊劇實錄信田狐 全四卷卅八場 [illegible] 陰陽の大家蘆屋道滿を亡ぼせしと云ふ稀世の [illegible] 總ず申込は電話四七七へ

浪花館 明治町 電話二六〇番
十二月四日より 新派讀の名人京山恭爲一行 △籔井玄意(爲春) △義烈百傑(圓洲) △水戶黃門記(若春) △北海奇聞雪夜物語大江道賢(二席) △明治曾我 一席 以上三席(京山恭爲講演) 毎日午後六時より晴雨に不拘開演仕候

壽座 本町 電話五七八
日本活動寫眞株式會社專屬 十二月八日より忘年活動大寫眞 ○滑稽小供五ダース ○新劇寒き往來 ○希臘劇ハの曲藝 (新派現代悲劇)『夜半の鐘』上中下三卷 東京やまと新聞掲載小說にして最も新らしき家庭の眞相を中心としたる現代劇にて更け行く夜半の肌寒き淺山寺の鐘の音に聞くも可憐な少女の浮沈たるがきし大悲劇 ○泰西大活劇『トニア』全五千呎大長尺 日活輸入のセルムにして『トニア』とは果して何者?最も趣味多き忘年活動中の呼物は他館に先んじ『トニカ』あるのみ ○舊劇『鶉の權兵衛』上中下三卷 お馴染の尾上松之助一座出演にかゝる天下の無敵漢僕屋の人より武士となり姫名を天下に轟かせしと云ふ實に花しある劇として最も趣味多き見後興行たつた七日間

御成座 御成町 電話一九一
▲新派定設第八十六回目替狂言 京城日報連載 ▲過去の罪 續編 十六場

領收證紛失公告
一、本社發行株金拂込領收證第二三〇號記入金額參百七拾五圓也 但金宗煥宛
右紛失ノ旨屆出タルニ付キ無效トス
大正四年十二月十日 京城隆興株式會社

湯屋廣告
弊社今般京城湯屋業者二十餘名と特約を結び男女湯脫衣廊の上部「見付の欄間」「男女間」仕切の上部に優美なる額面として各種廣告の揭揚方取扱候間至急御申込相成度候也
十二月六日 京城花園町六十七番地 京城共進社

廣島名産 山まゆ織 ㋟ 本物品撰評一瓶文筆柄見本進呈す 廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪二〇六九

安心して染められる 無害なるが 赤毛染 安全コクオー
●本品の如く無害にして良く染る染毛劑は世界空前の大發明なりとして京都、大阪、神戶に於ける大典記念三大博覽會より今回左の名譽ある賞牌を授與せらる
大典記念大阪博覽會 金牌受領
大典記念京都博覽會 銀牌受領
大典記念神戶博覽會 名譽金牌受領
斯の如く三大博覽會より同時に高等賞牌を受けたるは實に空前の記錄にして弊堂の最も光榮とする所なり
●安全コクオーは內務省東京、大阪兩衞生試驗所並に東京、大阪兩市立衞生試驗所農商務省工業試驗所等に於て無害良染を證明せられたる稀世の良品也
專賣大阪宮島 高橋盛大堂藥局 賣捌元京城 高橋盛大堂分店

未練男の暴行

仁川府新町五十三番地金元祚(三三)は今より數年前仁川府新町二十七番地 [illegible] 京城新町第一樓に板場に住み込みたる [illegible] の美貌に未練が殘りて辛抱し [illegible] 道具衣類を竊つて持ち歸り全部入質し [illegible] を寄貨として振威郡青北面李恒九よ [illegible] 約百三十圓を騙取し且つ之に使用 [illegible] して賭博に費消したる事發覺し仁川署に捕はれ目下取調中 [illegible] 金町三丁目古物商 [illegible] 所店先路上にて [illegible] 洞十二統一戸竹商裴玄俊長男昌 [illegible] は七日父の錢四十錢を持ち出 [illegible]

力武精米所の出火

仁川力武精米所は [illegible]

天氣 晴れ 十二月十一日 [illegible]

日出 七時 [illegible] 日沒 五時 [illegible]

◎西鮮産金增加 昨年より約廿萬圓

本年朝鮮銀行平壤支店の買入に係る地金の數量昨年に比し增加せる事は屢報の如きが今一月より十一月に至る買收の累計を聞くに五百零九貫六百四十匁にて其の價格百八十七萬五千四百圓の巨額を算するが(遂安雲山兩鑛山を除く)之れを昨年の同期に比すれば量に於て六十六貫五百匁を增し其の金額十五萬圓の激增を示せり本年昨今の一般商況が前年に比し好調なるは米豆牛皮等の相場昂騰したるにあるは勿論なれど地金產出の增加亦與つて力ありと云ふを得べし尚ほ本年各月中最も地金の出廻り多かりしは十月にて六十八貫三百匁乃ち金額の一割三分に相當り六月亦六十七貫を算し共に約二十四五萬圓の價格に上れり唯最も多かるべき八月は奧地出水等の爲め振はざりしと尚ほ本年は比較的温暖なる爲め十二月に入つても引續き豫期以上の地金送致せられつゝありと云へば其の年末累計は昨年に比し二十萬圓內外の多額を示すならん

◎全南道より ●●●●筏橋の近況●●●●

寶城郡唯一の呑吐港筏橋浦は慶南との連鎖密接にして貨物の移出入悉く釜山に取引せられ居留內地人四百餘名を算せり而して十一月中の同港移出高は米穀を大宗として二萬七千百七十五圓五十錢なる移入は二萬一千三百四十六圓を計上したるが米作は豫想に反して二割の減收不足となり又た棉花高値なる爲め鮮人此れを賣急ぎて米穀の調製を遲延せしむる結果出穀捗々しからず未だ好景氣と稱する能はざるものあり尚ほ同地農工銀行支店の十一月末總貸出高は十四萬五千零九十圓四錢にて前年の當月に比較し二萬七百餘圓の減少を示せりと▲榮山浦の金融 羅州郡榮山浦に於ける十一月中の金融は陂地に於ける米穀相場一上一下前途の見越し容易ならざる結果鮮人賣惜みをなし爲めに市況寂寞の觀あり去れど棉花は昨年に比し高價なる爲め著荷尠なからず爲めに同地農銀支店の十一月中貸出高は四萬六千九百圓回收四萬六千五百圓に及び此の方面に資金の需用を喚起しつゝあり更に秋季氣候適順なりし爲め畑作は頗る良好にて湖南線開通の惠澤を受け大根菜類を汽車便により京城方面へも搬出するに至れり▲於蘭鎭漁村 海南郡松旨面於蘭鎭に半農半漁の移民を招來する筈なりし東拓の計畫は熊本縣小川園の來住沙汰止めとなりし以來更に進捗せず未だ一戶の移民さへ見る能はざる狀況なれば地方鮮人は却つて奇異の感を抱きつゝあり去れば當局に於ても目下善後策講究中なりと▲濟州土地調査委員會 濟州島の土地調査は曩日終了を告げ完全なる測定を得て地籍も明瞭となりたれば十日より全南道廳に於いて工藤長官委員長となり地方委員參列して查定委員會を開催すべく多分何等の異議を見ず終結すべしと云ふ▲珍島郡農況 棉作は晩霜の爲め遺憾なく開絮し農家は早くも跡作として棉花大豆粟畑に大麥を播種し稻刈入後の畓は旣に秋耕に着手せられたり

◎助產婦生徒募集 公州慈惠醫院に於ては目下第三回速成助產婦科生徒十二名(給費生二名日本赤十字社委託生二名)を募集しつゝあるが志願者資格は尋常小學卒業或は同學程度の二十歲以上になる身體强健なる者にて十二月十五日迄願書に履歷書を添へ提出すべく鮮婦人にありては國語に通じ假名交りの漢語を解し得るものとす因に志願者の內憲兵警察官の家族は警務部を經其他にありては直接同院に各願書を提出すべしと

◎連絡船上陸客 九日午前釜山入港新羅丸一二等客

一等(二名)武田近次郎、ビルコフ、二等(二十二名)時田たみ、藤島七郎、森山直久、加伊三郎、同ない子、同房子、齊藤音作、同むら、河波晄、木島郎、西山つれ、吉野光子、同好雄、同照子、駒紋、齊藤三重、河本矢五郎、國重周次、同幸[illegible]、伊加賀矢六、劉大成、樫原泰一、油谷圭弐、三條(百四十五名)

九日午後入港對馬丸一二等客

一等(四名)岳開完、鈴木幹一郎、井口省吾、海寶精、二等(十一名)久保田捨次郎、岡崎愼太郎、佐々亮雄、橋詰兼太郎、高木百入、二四市與一、疋田豐藏、浦野成藏、荒木義一、四方辰馬、塚越禮藏 三等(六十一名)

で常に賭博にのみ耽りゐる爲め夫に愛想を盡かされ昨年末頃法律上の手續まで濟ませ立派に夫婦別れをなし十五日夜腹立紛れに張方の月尾を破りて闖入し張を亂打し衣類を引裂き家財道具を打ち毀し出掛の駄賃に[illegible]住元土地調査局雇員吳雲書(二)が同局の技手なりと詐稱し土地の紛爭中[illegible]

◎革製蟇口一個 住所不定金聖完(二)は二日午後零時半頃京城黃[illegible]

◎少年京城へ出奔 仁川當[illegible]せり一日實父を召喚し說諭の上同人を引渡[illegible]保護を加へたる上[illegible]

商況

東京株式特電

八日	前場寄付	大引
日本郵船	……	……
日韓瓦斯	……	……
日清紡績	……	……
同新	……	……
日本麥酒	……	……
東株第一	……	……
東株第二	……	……
東新第一	……	……
東新第二	……	……
主力株は寄付安		

債券現物特電

東京	前日との比較
十日出來値段	
東洋拓殖	一五八、〇〇
日韓瓦斯	
朝鮮銀行	一三五、〇〇
朝鮮鐵道	

公債直取引特電

東	前日との比較
十日出來値段	
五分特別	九六、〇〇
五分利公債	
一回四分	八一、七〇
二回四分	八二、六〇
甲号五分	九九、〇〇

東京期米特電

	十日前場	後場
寄付	一五、〇九	……
高値	一五、一四	……
安値	一五、〇四	……
止め	一五、一三	……

大阪三品特電

	十日前場	後場
十二月限	一二〇、九〇	一二一、〇〇
一月限	一二一、九〇	一二二、〇〇
二月限	一二三、〇〇	一二三、〇〇
三月限	一二四、三〇	一二四、〇〇
四月限	一二五、〇〇	一二五、〇〇
五月限	一二五、九〇	一二六、〇〇

大阪期米特電

▲十日前場	
當限寄付	一四、二九
中限寄付	一四、五九
先限寄付	一五、〇二

深川在米 十日電

十日現在高	
朝鮮米	三七、八七九
臺灣米	六一、八〇七
內地米	一五八、二一九

大阪株式特電

種類	拂込額	前日後場止値	十日前場
宇治川水	五〇	……	……
京阪電鐵	五〇	……	……
神戸電鐵	五〇	……	……
和歌山紡	五〇	……	……
合同紡績	五〇	……	……
同上新株	五〇	……	……
東洋紡績	五〇	……	……
大阪商船	五〇	……	……
日本郵船	五〇	……	……
大阪米穀	五〇	……	……
東京新株	五〇	……	……
大阪株式	五〇	……	……

下關期米特電

▲十日前場(當限)(佐伯賀に朝鮮)
寄付、高値、安値、止め [illegible]

雜報

◎株式落付く 昨後場に於て主力及船株等高を告げ北濱市場の今前場は又々落付きたるもの如く

◎郵船株 一圓五十錢高の外僅かに小高下ありしのみなり

◎內地米買收額 大正四年度米買收額は仕荷主取引所仲買店並に三府縣米穀檢査所部合及び米穀業者等に紹介調査せし結果內地米實收高五千百四十六萬八千九百石

◎餘石七十萬石 [illegible]

平年作一分 [illegible]

六厘增收 [illegible]

◎白米注文續出 白米移出は此兩三日來大阪方面より賣注文を濶かれ各精米所共に此處再び繁忙を[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 (イ) 今村覺次郞 電話長三三七、三六八 略號(イ)又ハ(イマ)

◎船便不足の憂 來しつゝあり一時船腹不足の爲め少なからざりし商談を取遊ばせしもの三日頃を以つて略ぼ積切りとなれば當分船便不足なれば仁川を始め引合ひも一と共に手控脱氣に商談を運びつゝあり最近出來値は沖渡袋入の十四圓四十錢なり

◎支那棉は不味 大阪事情の利暁と壊安とにて幾分市況面白からず風情なるが印米兩棉も無理の安値は期待せられ難きと從來過剩視せられたる天津棉も上海寧波の不作地より相當補充商談運ばれざるにあらずと近々結氷期の切迫せる事とて先行き多大の興味を以て目せられつゝあり

◎眞綿は奔騰す [illegible] 目下眞綿は[illegible]

◎臘一二圓宛奔 [illegible]

◎明太魚は不味 大明太魚は昨今尚江原道物の廻著あるのみにて可成り取引行はれつゝあるも新物の出回りに至らず[illegible]

◎二十圓內外を唱ふ [illegible]

◎常に一部の値安賣 [illegible]

◎物の絶えざるが爲め割安の賣りと [illegible]

◎米穀輸入遲延 例年ならば旣に取引開始を見つゝある米の需要に對し近來船腹不足の爲め本年の輸入は延び延びとなり何時頃入港を報じたるも目下の處見込み立たず

◎豫想附き難し [illegible]

◎鹽鱒氣强し 關門はし需要今一段捗々しからざるも昨今內地人向として可成りの賣行きあり

◎產地高に伴ふ 釜山筋の態度强硬 高地目下の在荷は潤澤ながらず釜山筋に於ては產地高に伴ひ强硬の態度を持し[illegible]一昨日來[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米 [illegible] ▲小豆 [illegible] ▲色豆類 [illegible] ▲大豆は氣餒し [illegible]

朝鮮一等白米(當用)	十四圓五十錢
同二等白米(當用)	十四圓六十錢
同	十四圓
永洞大豆	九圓七十五錢
同	九圓八十錢
太田大豆	九圓六十五錢
同	九圓三十五錢
安城大豆	九圓四十錢
元山大豆	九圓九十錢

京城正米

◎白米注文再び好況 內地よりの引續き賣物豐富なるに拘はらず期米の崩かりと米價の反動奔落を豫想せしめたる小刻に於ける米價の反動奔落を豫想せし[illegible]

◎南大門の廻米 方を引締めたり 一二二十錢 [illegible]

南川穀	一三六叺	烏山白米	七八叺
定州糯	四一叺	烏山大豆	六八叺
全義白米	一七叺	汶山穀	一四一叺
一山白米	一六叺	汶山白米	五二叺
金村白米	四六叺	水原白	一九叺
汶山白米	一三九	水原穀	五四叺
驪州穀	二〇六叺	金村白米	五五叺
長湍穀	一七七叺	芙蒲穀	八六叺
長湍糯	一七七叺	平澤白米	四叺
平壤糯	二七叺	一山白米	七叺
大安穀	二〇叺	漣川粉	三七叺
漣川大豆	一四六叺	漣川雜穀	一四叺

仁川現物市場

△籾入津約千四五百俵氣配變らざる人氣 △正米入津中白米百五十叺氣配依然保合の唱へ △大豆入津約一千餘叺氣配は入津續て多く之に反し需要なき爲多少付目安く弱保合の人氣

仁川期米

▲十日前場 十一錢安の入電 大阪前場寄付五圓〇二錢と昨日より當地中九圓七十六錢より八錢と伸び六錢引先十四六十四錢さ八錢安に寄付たるも投げに新規に賣物多く二錢と押したるが仰日は又利喰に新規に買物あり折柄大阪四節〇九錢と高移りに七錢さ返したるが崩れた大阪七節十七錢と高移りにヂリヂリ七十錢と流れ返し小堅さ散

田中合資 ▲田中會 朝鮮米券取引所御得意御中 電話長一六二八 一五二 番

▲十日前場 中限九圓七十六錢(二九十八錢七錢六錢平均値段七十七錢出來高三千三百五十石△先限(一)十四錢二錢三錢二錢三錢二錢三錢四錢三錢(三)六十七錢六錢七錢

市場零聞

△前場の大商戰 五錢 六錢五錢四錢三錢四錢三錢(二)六十三錢四錢(三)六十七錢八錢九錢七十錢六十九錢八錢九錢七十錢 [illegible]

▲前場跳ね返す [illegible]

受 一部投の續出 [illegible]

▲當限遂に解合 昨紙所報の如く當限の成行は脇合の外なかるらん形勢なりしが昨引後某氏の斡旋にて遂に八千六百五十石十圓丁度にて解合に依て踏玉は大阪某精米所肩代り五千石あるのみさなり是も電報にて照會中さの說あるが果して如何なる結果を見るべき精探の上報すべし因に賣方は買方は三筋である

△今三の態度 日下市場に於ける當代の態度に就きて主として云ふ前場に於ける掛引振りは今筋は當限解合 身代り中限目蒐けての如く込み來る者の如く三筋は之に反し先限に向つて利喰買退き或は多少買越したるがの說あり是に依つて見れば今は全然弱氣方針一貫する者の如く三は非常時報道せし如く根が強氣畑の人なる丈賣玉を手仕舞さ同時に再び買建んて振り合であるから今後市場に於て兩氏の接戰を見るの時あらんと期待せられ居れり

▲問題は中限 當限已に解合

▲問題は中限に注目 たるより市場の限月に對し至れり問題は中限に注目する所となり期限の如く今の中さ買方は見る買向ひたるより買方の勢力を以て三萬三千餘石の大取組を擁したる大戰爭である此成行の如何に決すべきは恐らく中限戰である人氣の上に大影響を及ぼすならんと却說も注目すべ

吉 海岸町 行貫仲買店 電話長一九二・三〇一・三五六・(ユキ)又ハ(ユニ)

仁川米豆取引所 十日の二月限

前場		平均値段	
寄附	十圓六十四錢	一節	十圓六十二錢
止メ	十圓七十錢	二節	十圓六十五錢
高値	十圓七十錢	三節	十圓六十四錢
安値	十圓六十二錢	四節	十圓七十錢
出來高	二萬千七百石	五節	十圓六十九錢

買賣取組高	出來値	比較
十二月限	一萬三千六百五十石	
一月限	三萬三千七百五十石	
二月限	二萬二千四百石	

北濱だより

九日後場川來値 前日比較

一〇七〇	六安
一〇七二〇	二安
一〇七四	四安
一〇七〇	八安

▲鬼怒川水電株 北銀に抱擁せられた株券が有力筋に買取られた事は樂觀するに値ひするけれど七朱五厘の配當であつたものが今期は九朱の配當になるといふ事を悲觀して値の品まつたな寧ひさ持株筋の賣繋ぎが顯はれたのに大體に同株は常に悲觀の標的となつて居る株なれば之に對する買物がなかつた

▲京阪電鐵株 城邦新客に臨時の收益は巨額に達する所あらうと云ふ事を以ても一般に搭乘するのが便利であるけれども汽限に出るものは案外少なく或は臨時せし程の乘客が增加するや否や[illegible]るが同株の現もすれば不勢[illegible]因であらうさ云へる者もあつた

▲船株は手堅し 力の偉大であつた汽船株は主力の下押しに伴れて利喰の賣物が現れてご敢て受けさなったのであるが[illegible]

小賣白米

	一升に付	
上白米	同	十四錢
次白米	五斗入	十三錢五厘
上白中	五斗入	六圓八十錢
後賣白中		六圓六十錢

顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 ヒサン 仲買店 電話五四 二三 番

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長二三二、七三九 略號(三)又ハ(三巴)

新發明の 附て高尚で非常に美しく洗つた後も不思議に生地の色まで白くなる クラブ白粉

報 最高 攝氏二十七度五分 最低 攝氏氷點下二度五分 [illegible]

越後大評定

第六十九席 早川貞水口演

彦左衛門の奇智

是に於て越前福井へ御上使として、天海大僧正、大久保彦左衛門の兩名へ仰付けられましたから、兩人は直んで御前を退る、一同も嘆息を吐いて『アヽ是で宜かつた、成程紀伊殿の仰つしやる通り、是程の騒ぎも、天海、彦左衛門出られた爲め、無事に終結つた、是で安心だ』と、思ひ〳〵に部屋に引取る、此方は天海御坊、木綿の道服、木綿の法衣に頭陀袋を懸け、其內に御上書を入れ、東叡山寛永寺御出發、彦左衛門とて又御支度は至つて質素、まるで寺侍のやうであるから、寺の住持が何れへか旅でもするやうで御坐います、愈々兩人仲立つて東海道を漸次、越前福井を指して乘出す、孰方も御老人とは云ひながら御達者、後年に至り慈眼大師と仰がるゝ御名僧と、德川家の柱石、武士の龜鑑と稱せらるゝ彦左衛門だから、互に御話が合ふ、戯談などを言ひ遊ばして泊りを重ね、頓て越前國大野峠へ御往でになつた、此大野峠を越えて、大野林泉寺へ著する日取で御往でになつたのが、八時下りで御座います、當今の午後四時と云ふ頃今や峠へ掛つて來ると、向ふにドン〳〵焚火をして、賊が二十人ばかり居る 天『彦左 彦『ハツ 天『あれは賊でないか 彦『賊で御坐る 天『ア賊だな 彦『左樣で御坐る、梁上の君子、綠の林など申す輩 天『ア斯りや大變な所へ出會つた、彼樣な者は理屈も何も分らぬ奴ばかりだから、無法に山刀など揮り廻すから困る、何うも嫌な者が居るな 彦『左樣で御坐る 天『揶揄うて飛んだ怪我でも致しては不可ぬな 彦『左樣、これは、一つ計略で追拂ひませう 天『どう云ふ風に致す 彦『私が此小高き所へ登り、ヤア〳〵其道路を妨ぐる者共、よつく承はれ、吾々は此度將軍家よりの命にて、越前家征伐のため差向けられたる軍勢なり、往來の妨げなすとは不埒千萬、ソレ討手の先陣大將大久保彦左衛門、あれへ進んで速かに道を開け、者共待てと申しますから、其時御僧は、あの竹の中へ入つて、竹をかさ〳〵動かし、ウワーツと大きな聲を御揚げ下さい 天『是は子供欺し見たやうな 彦『イヤ其子供欺し見たやうな計略が、却て圖に中るので御坐る、餘り企謀んで難しい事になると、智慧のある奴は、同じやうな考へをするから、其計略に落ちぬ、こんな賊共には、これ位の計略が恰度宜いので御坐る、天『成程然らば此方が雜兵の役をするのだ 彦『マア然う云つたやうな譯で、不可なかつたら又別な事を行ることにして一つ行つて見ませう 天『それでは二人で二千人ばかりの聲色を遣ふのだ餘程骨が折れる 彦『エ、なか〳〵骨が折れます 天『それでは兎に角やつて見よう』と天海僧正法衣の袖が竹に引懸るといけないから高く肩の邊に卷上げ『サア彦左宜しい』と竹を二三本持つて『サア來い』と竹藪の中へ入る、頓て彦左衛門、岩角の所へ突立ち上がると大音を揚げた、彦左衛門は天下の三大音と謂はれた人、太閤秀吉、福島の家來可兒才藏、德川家の家來大久保彦左衛門、之を天下三大音と云ひ、太閤の御聲は三里四方に聞えたと云ふ、其樣に聞えるものではない、是は太閤殿下の御德を揚げたので御坐いませう、彦左衛門は四丁八方に聞えたと言ひました。

贈答品には
本場 實用向きの ちゝぶ銘仙 珍柄豐富
京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番

十二月十二日 九星 舊十一月六日 丁丑 宿 命 五黃 八方除 佛滅

▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲八白 依賴心の事有り [illegible] ▲九紫 氣運よき日 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 心外の事有り [illegible] ▲四綠 一喜一憂の日なれども新事控目の方吉 [illegible] 旅行移轉に妨なし

◎下羽式電氣マッチ 東京芝區新網町一下 [illegible]

◎進物用ホーカー液 東京和泉橋越崎 太郎商店製造の家庭化粧料ホーカー液は品質効果共に卓絶せる新時代の化粧料として [illegible] として今日迄に持續されつゝあり

りん病 淋渇で困る方 多年の慢性も 自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

流經新藥レスノリン 月經 閉止四五ヶ月以內ノ者ニ應用ノ目的ヲ確達シ 流經 實作用ノ確ナルコト他藥ニ優越ス○藥價一瓶一圓送費卅錢切手一割增 說明書三錢切手添申越進呈 振替大阪二八三七〇 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

七日ツケタラ鏡をごらん 色白くなる ゲンソ液 今東京で大評判の白美の元素 アレな防ぐキメなコマカにし色艶を頰赤き顏 日ヤケおしろいヤケを防ぎ男子のヒゲソリ後朝夕洗面後入浴後によく眞の美人美男子となる其他いろ〳〵の特効あり 本舖 東京神田和泉橋際 松本藥店 全國の藥店小間物店にあり近所に品切の時は直接本舖へ郵券代用御送附あれば直送す。◎定價廿錢徳用四十錢

ライオン歯磨

樂しき家庭の團欒!
健康と平和と希望と
美と善と眞とに滿てる
樂しき家庭の團欒の後には、
必ず朝夕の
ライオン歯磨の守あり。
必ず食後の
ライオン歯磨の援あり。

昨日の荒れが最う治つて
昨日以上の此の色艶、自慢する樣で耻かしいけれど餘りの嬉しさに言はずに居れぬ
眞に肌理をよくする
クレームレートは
家庭の私共にも外出の皆樣にも今一番大切な美身料です
東京・大阪 平尾賛平

朝鮮總督府
定法消毒劑
消毒防臭 アイゼル
猩紅熱、腸チブス其他惡疫の豫防消毒○無害無毒、殺菌完全、價格低廉
何處の藥店にも販賣す
高麗人三本舖 アイゼル輸入元
京城鐘路 井上藥部 電話〔光〕八番 二一五七番
波 粉 末

今朝…消化と毒けし 仁丹 召上りましたか
金言 事業は人世の鹽なり(美國諺俚)
仁丹召上つてイツモ爽快!

滿蒙處分論
露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵稅本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

吉丸	十二月	日後四時出帆
若代丸	十二月	日後四時出帆
神代丸	十二月	日後四時出帆
大有丸	十二月	日後四時出帆
第二太湖丸		日後四時出帆

○群山、大阪行
土海丸
仁川海岸通二丁目 電話百十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外國航路(遠洋航路を除く)に連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行

温州丸	十二月十五日	
須磨丸	十二月十九日	午後五時出帆
油頭丸	十二月十一日	

○木浦、釜山、長崎行 ▲は殷栗浦に寄港

安東丸	十二月 日	午後二時出帆
▲城津丸	十二月十八日	

○鎭南浦、大連行

安東丸	十二月二十日	午後二時出帆
城津丸	十二月十三日	

○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行

章州丸	十二月 日	正午出

○門司、大阪行

宜州丸	十二月	正午出

○群山、釜山、福濱行

千珠丸	十二月二十日	午後四時出帆
チヨイサン丸	十二月一日	

○大連直行

千珠丸	十二月十四日	正午出帆
チヨイサン丸	十二月廿六日	

○淸津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港

久丸	十二月十八日	午後三時出帆
宮丸	十二月廿八日	
▲大智丸	十二月十四日	

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)

北丸	十二月廿九日	午前十時出帆
商丸	十二月十七日	

御注意
○朝鮮鐵道及南滿鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前御越被下度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二二〇番五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆

○大連秦皇島行		
相模丸	十二月廿七日	正午出帆
高砂丸	十二月十八日	正午出帆
○大連、秦皇島行		
三河丸	十二月十一日	正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船
本社 電話長一九五三番二二三番
鐵道及其他汽船と商務連帶運送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱所に御照會を請ふ
京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話長二七〇番

全羅丸	十二月十四日	
京畿丸	十二月廿四日	
黃海丸	十二月廿八日	
咸鏡丸	十二月十八日	釜山發

門司より釜山各港寄港の事

慶城丸	十二月 日	
昌平丸	十二月十三日	
龍城丸	十二月十五日	元山發

元山より各港經由雄基行

平讓丸	十二月十三日	元山發
忠淸丸	十二月廿二日	元山發

城津、淸津、浦鹽行復航釜山經由門司

永興丸	毎月廿八回	元山發

北久味、五島浦行又は長崎延長

嘉島丸	十二月十一日	釜山發

甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行

江陵丸	毎 日	(釜山浦項)發
襄陽丸		

長生浦、方魚津寄港

三浦丸	十二月十日	釜山發

長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行

海州丸	毎	
統營丸	三日目	木浦發
巨濟丸	日	釜山發
慶寶丸		

各港經由麗水行(三日目一回木浦行)

順天丸	三日目每	木浦發

各港經由麗水行麗水より釜山行に接續

慶興丸	十二月十六日	木浦發

一、各港經由濟州島(九回)

公州丸	十二月十二日	木浦發

一、南多島海列島行(廿三回)

公州丸	十二月十一日	木浦發

一、各港經由濟州島行(東廻)

宗信丸	十二月十二日	仁川發

海州龍各港經由、鎭南浦行

江原丸	十二月十六日	仁川發

芝罘、大連、青島行

麗水丸	十二月十一日	仁川發
晋州丸	十二月十六日	

各港經由木浦行

全州丸	毎日午前	仁川發
南陽丸		

江華島、喬桐島、海州行

平安丸	十二月十九日	群山發
	十二月六日	若松發

往航 大黑山、木浦、門司、若松行
復航門司、一木浦、群山行

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社命令航路 東京、芝罘、大連行

第一共同丸 十二月十一日 日後二時入港 十二月十二日 前九時出帆
京城、仁川 東亞運送部、各寄港地に於て取扱ひ御乘船の上は船客待遇に注意致候

第一阪鶴丸 十二月 日 後九時出港
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)

第三共同丸 十二月十一日 前八時 十二月十二日 出帆
西湖津沿岸各港經て雄基行(元山出帆)

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城代理店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行		
立神丸	十二月廿一日	後五時出帆
○元山城津浦潮行		
立神丸	十二月	日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行		
小倉丸	十二月十四日	後五時出
○元山、淸津、浦潮行		
小倉丸	十二月廿三日	後十時出
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行		
第三翠平丸	十二月廿一日	後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行		
第三翠平丸	十二月十二日	後六時出
○佐須奈、嚴原、勝本、博多行		
天與丸	毎月廿一回	午後十時出帆

釜山港埠頭 大池回漕部

汽車 京城 南大門發 [illegible]

（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）（日曜休刊）

京城日報

第三版

十一日朝刊（第二千九百六十九號）

發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]　發行所 京城日報社　電話 [illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

盛式參列感

井口軍司令官談

御大禮に參列し觀兵式を拜觀して歸つたが御大禮前後に涉る天候の快晴が雨多き日本に珍らしき連續であつたのは一入更に天佑の顯著なるを思はしめ引續き觀兵式の御閲兵迄親しき御心勞にも拘はらせられず陛下には聊の御支障もあらせられず玉體愈々御健勝に渡らせられた事は今上陛下が

□帝王として　如何なる大事にも當らせらるゝ事を得るの證左となり換言すれば帝王の試驗に美事其偉大を御示顯遊ばされた譯である天壽萬歳萬々歳國運隆盛の基、我々臣民の喜悦是に如くものはない次第である、觀兵式に次で觀艦式、共に聖代の盛事で正に列強に對する偉大な示威であり又實質に於て東洋に於ける大偉力である東洋の事は總て我日本を措いては更に爲し得べからざる事日本は東洋の主人たる事を明にした譯である由來我外交の種々の場合に於ける態度が常に面白からぬ結果を招くのは外交官が軍備を充分に利用し得ないからなのだ外交と軍事を別箇にし外交官は交際官の心得を爲し

□自ら信頼す　べき軍備を有せる事を知らざるが爲めである軍事は即ち外交なのだ自らの力を知つてこそ言論にも行動にも思ふ所を爲し得るのである現時歐洲列強の名ある外交官たる者殆んど皆軍人上り乃至軍事智識に精通したものであるのに日本の現狀を顧みれば外交通の軍人こそあれ軍事通の外交官の勢ひ誠に乏しい有樣である四年前支那に革命黨が蜂起した時日本の態度は清朝と革命黨に對して頗る不明瞭な味であつた總ての事は成る樣に外成らぬものだ日本は東洋の主人公だ東洋の事に對しては日本が主動者たるべきものだ是れ外交官の腰が弱いからなのだ其れは軈て軍事智識の缺乏に據る自か

□劍の切味を　忘却してるからの腰のなのだ此邊の處は敵國たる獨逸の外交官を學ぶと可いと思ふ對米問題抔にしてもさうだが米國が軍備に意を注ぐ樣になつた事は大統領の教書にも現はれてるが是れ強者に對する弱者の恐怖が猜疑となり嫉妬となつて顯はれて來るのだ併し米國の軍備擴張など更に意とするに足らぬ其根本に於て自由主義個人主義で固まつてる國に強兵は出來やしない獨逸の帝國主義にこそ強兵はあれ英國の自由主義には強兵は決して生まれない世界に於ける日本の地位が一歩進んで認められる樣になつた御大禮、陸海軍の盛事に到して感慨深いものがある

新支那漫言

布施知足

七

所謂勢力範圍の説とは何ぞや之れ歐米列強が亞非利加の無人若しくは人有るも國家なき地に手を加ふるに際し各自の利益を擁護せんが爲に唱出せる僻説にあらずや之れを人衆く物具はり國家亦儼として體を成せる支那に應用せんとす其根本に於て既に謬れり勢力範圍とは漠なる利益範圍の謂にあらず寧ろ其以上を指すものなるが故に此語を用ふるの危險は即ちそが分割の豫想を伴ふ點にあり吾等は我邦の立場として支那の分割を豫想するを欲せず否我邦の任務は世人の既に言ふが如く專ら斯る豫想の實現を防ぐにあるを信ず夫れ事を爲むるは其事の據て立つ所の主義を攻むるに如かず此意味に於て吾等は我邦の對支政策が先づ主義に於て自らの舊套を脱し更に其の力を列強に據て以て金城とせる勢力範圍劃定主義の打破に用ひんことを望む日本が對支實力の優越を誇る論者よ何ぞ其實力をして先づ此の自恣なる主義の打破に用ひしめざる世人の好んで口にする指導的外交とは實に斯の如きを指すにあらずや吾等は我邦の對支の議論が嘗て此に出づる能はず偏に列強の後塵を逐うて我邦勢力範圍の廣狹を論ずるの外に出でざるを觀て喜ぶ事能はず若其れ民間の對支論客が袁氏即位の如何を揣摩して日を暮すに至つては吾等殆んど謂ふべきの辭を知らざるなり

朝鮮葉煙草政策私論（二）

廣江澤次郎

南山煙と東山煙

奉天省に於ては北半部際に東山一帶は貨の主產地として有名なるも、元來奉天省產は品質優良ならず、葉貨と仲買に就て云はんか奉天城の重なる者にては小西關の隆勝店、遼來店、及び小北關の華豐店等なるも朝鮮の客主式葉貨委託問屋なる故賣主より一歩乃至二歩又買主よりは一歩の口錢を徴收す次に有名なる吉林葉を調べんか

吉林省	阿什河	四三二、〇〇〇貫
同	双城堡	三六〇、〇〇〇
同	楡樹縣	三五二、〇〇〇
同	伊通州	三四四、〇〇〇
同	五常廳	二九四、〇〇〇
同	濱江廳	二八八、〇〇〇
同	興東縣	二七二、〇〇〇
同	農安縣	二二四、〇〇〇
同	濛江縣	二三四、〇〇〇
合計		二七九二、〇〇〇貫

流石は吉林省の重要物產、又產額も豐富なり、該省中栽培の最も盛なるは南一半殊に松花江流域なり。通稱は吉林葉を南山煙と稱し奉天省產を東山煙と呼ぶ支那人は葉煙草を菸、煙子又は菸葉或は單に菸と稱し、延べ葉を片子、綾り葉を柳子と呼ぶ。吉林城に於ける菸舖（葉煙草店）を擧げんか、流石は主產地需給の調節機關略々整へるを見る。裕祥泰、景福泰、萬成福、全興福、永昌德、會成東、東成慶、興隆長、廣順興、永順利、黑龍江省は之を知るに由なきまゝ、略す、右產業の大部分は滿洲にて消費され又露領沿海州地方にも輸出さる、英米トラストは奉天工場にて此吉林葉を調理し上海へ移出し居れるが成績佳良ならざるが如し。吾人は値段香味及び製造歩止まりが滿洲產葉よりも朝鮮產が平均して勝れるを喜び支那遠征の兵站線を朝鮮葉に依頼せんと一層決心の臍を固むるもの也。

北支那の產

轉じて北淸地方は吾人寡聞銘產地を多く知らざるも、由來省は灤縣及び棲霞等には相當生產あるが如し。余今夏支那に遊びし節『如祇如天至齊至魯』の金文字の扁額麗々しく飾られたる灤縣停車場にて長方形に荷造られたる葉貨を見たり。是れ土產の物なりしか？北淸地方にも深く望を囑するに足るもの無きが如し、吾人は朝鮮葉貨の洋々たる前途を祝福せざるを得ず。灤縣に就て想起す、明治三十八年より四十年頃支那に於ける捲煙製造熱勃興し當時此灤縣にも濟和煙草廠とて、支那人が官憲より種々特權を附與せられ活動せしも遂に競爭に堪へず沒落せり、茲に於ても捲煙の製造仲々盛にして曰く中安煙草公司、曰く隆成香煙公司、曰く恆利煙草公司等孰れも一切貨製造機械二三臺宛据え技師には本邦人を招聘し濫鬪せし時代も有りしが今は之れ過去の夢と化し何等片影を止めず、徒らに英米トラストの跳梁の舞臺となりしのみなり。

繊なり長江の岸

馬首を回らし一鞭を加へて長江沿岸に出んか、流石は是れ支那富源の淵叢にして又中華の大動脈たるの稱に背かず、葉貨の如きも各地に銘葉を產し其產額亦莫大なるものあり、我朝鮮產葉の不足に乘じて突入し來り吾々製造家には利便とは云へ鮮葉に多大の壓迫を加ふる湖北省均州葉、安徽省宿松葉此他、河南省鄧州、冠部、安徽省貴梅、湖北省黃岡、南鄉、江西省廣豐驛前、四川省四川、湖南省林州を始めとし都昌、梅溪、泗都、瑞金桐山、桐城、金塘、朱湖、等幾十百種、大部分汪洋たる長江の流れを慕ひて皆集まり、主に漢口、上海、九江等より邦商にては三井物產、伊藤商行其他敏活にして資本豐富なる華商の手を經て或は西洋に或は日本、香港、南洋諸島に、或は朝鮮及び支那各地に輸移出さる亦熾なりと云ふべきなり、扨て朝鮮に緣故最も深く又將來囑目に値する均州葉と宿松葉を調べんか

議會覗き

東京支局　一記者

▲首相、外相、藏相の演説、之れに對する質問戰が呼物となつて傍聽人雪崩れ込みの一幕が愈々午前十一時頃から開かれて傍聽席は目白押しの大入繁昌▲やがて首相登壇となる、見れば珍らしくも和服の扮裝、松葉杖を力に秘書官達に扶けられて辛うじて演壇に上つた姿のいたく\/しさは貴族院の目賀田男が『あの姿を見ては氣の毒で質問する氣にもなれなかつた』といつた通り衆議院でも攻擊軍の氣勢病める首相を見て戰はざるに先づ鈍る▲石井外相巴里仕立のフロックコート瀟洒として如何にも垢抜けしたところ天晴れ新歸朝大臣と拜されたが、爭はれないのは貫目で演説振は重味を缺いて大事なところで見ン事上ッ滑る▲さらねだに紅木屋侯爵、今日大臣としての態度に申分のあらう筈はないが、武富藏相の財政演説風采の堂々乎たるに比べて少々だれる▲手ぐ脛引いて待ち構へた攻擊軍は大隈首相の退席で氣を挫かれたが采配役元田君の彈劾質問貧弱な柄相應にメートルを昂げたところへ一木内相首相代理と許り『貴を引て辭表を出したが幸にして聖旨……』と脱線したので野黨の面々『ソレ本音を吐たぞ』動搖き原白頭翁まで蹶を搖ぶつて大恐悦▲貴族院では恥かし相に柱に半身を隱してゐた參政官連も衆議院では我劣らじと政府委員席に納まつた迄はよかつたが島田議長が『贊成の方は起立』と議場に宣すると加藤、島居の正副參政官は思はず起立して嗤と笑はせ自分もクスクス▲此日島田議長大に威權を示す積か何かに附て頻に注意の連發をやる

▲尾崎法相大浦問題の本家本元として堅固異同の辯を振り立ると例の佐々木蒙古君『ヘン……フン』と拳骨を鼻の先で振り廻しながら盛に彌次る▲議長躍起となつて何の規則に依つて發言するかと開き直る、其處は蒙古だ『議長のお手本を眞似たのだ』と減らず口に還り返す、不穩當だから取消せ、イヤ取消さぬで遂々懲罰事犯として終つたのはトンダ茶番▲阿修羅と荒れた佐々木君房太の羽織の紐をブル\/と戰はせながら控席へ歸つて『島田が國民黨時代に政友會の妨害で演説が出來なかつた時、其の妨害を鎭めて演説させたのは吾輩だ、彼れ何の顏ありて吾輩を懲罰に附するや』と怒號する傍に相島君が議事規則を調べて居ると蒙古王脱兎の如く六尺[illegible]めて『オイ被告にも一ッ見せて呉れ』（七日夜記）

大阪より

△調節米輸出　政府調節買上米輸出も今回愈々事實となり東京所在の肥後米伊勢米近江米等約一萬千石を横濱の原富太郎氏買受け二日同地に移送の上荷造りを改め直にシヤートル方面に輸出の筈にて既に三日より受渡しを爲しつゝある由なるが横濱よりの米穀輸出は見本的の物を除きては之れを嚆矢とす

△輸出糖獎勵策　聯合軍にては新糖處分として百萬俵を原糖に百三十萬俵を直接消費に割當てたるも内外の狀勢上過剩の虞れあるを以て其一割を輸出糖の外に更に輸出せしむることゝなり獎勵策として一俵に付き二圓を輸出會社に交附することゝなりしが此の金額四十六萬圓は内地消費糖の市價を引上げて輸出することゝなるべしと

△亞鉛線大値上　亞鉛線は本國相場の暴騰と積出困難にて市場輸入品の拂底を告げ六番線二十一圓見當といふ高値となせり斯くの如き高値は實に空前の事なりと

△紡績社債續出　紡績會社々債計畫續出既に社債成立したるは鐘紡三百萬圓富士紡三百萬圓の外は内地借替を始め目下計畫中にて定時總會に附議すべく決定したるものに東洋紡績三百萬圓天滿織物五十萬圓等あり其他紡績會社中にも社債計畫中のもの少からざる模樣なり

△板紙協定再議　全國板紙界の生產能力三割減は曩に大阪に開きたる同業聯合會にて決議したれど決議に服せざるものあり八日重ねて同業聯合會を東京に開き再議する筈にて當業者此程東上したり

△炭價漸次恢復　今春二月頃より崩落を來せし石炭相場は工業界の需要增加と季節柄の需要增加とにより次第に價格の恢復を促すに至れり而して輸出方面は船腹不足の爲め依然手合せ困難なるも筑豐地方の出炭高も減產協定以來餘程の減出を來し居る矢先なれど近來内地需要の增加の爲に貯炭の消化頗る迅速となり昨今に於ては門司の貯炭も五十萬を切込み更らに減少の見込みなりとの事なれば既に八月の低値に比し五分乃至一割の恢復を見たる炭價は前途益々強含と解されつゝあり

△値上後の水飴　大阪製飴同業組合が既記水飴一貫目に對し七錢値上げ決議の經過によれば右値上の主因は原料の騰貴に伴ふ結果なりし所倚原料は昂騰しつゝあるが目下之れが製造の季節に入りしことゝて旁々今後は更に幾分の値上げを見るならんと

△鑄鐵管の値上　全國鑄鐵管同業組合は昨今水道及び瓦斯用の鑄鐵管一割の値上げを決議したるが原料銑鐵時價昂騰に伴ひ不日更に再度の値上を決議せん模樣なりと（支局發）

京日詩壇

○初冬野歩　江原如水

楊州綠散晩秋林。楓柿粧紅不背期。外王陵山上寺。吟肩擔得社中詩。

評曰　細寫淡染、情其中。

○同上　高田小芥

月山曉色閃寒光。一發銃煙林外揚。水牛冰膠鷺脚。雪然埋履板橋霜。不見溪林楓葉紅。青鴨帶箭墜寒風。知早雪碎秋色。錦繡山村一夜空。

評曰　筆力行空、幽險驚人。

○同上　永井烏石

吟杖乘晴出竹扉。不知緩歩到斜暉。翁爲我勸新釀。笑道寒郊帶醉歸。

評曰　矢口成章、共調近范家。

○同上　成田魯石

舞色小春遊可親。仍看野菊動香塵。新醪既熟揚州路。微醉宛如騎鶴人。

評曰　咄嗟之作、太見巧思。

○同上　高井椿堂

夕陽明半峰。仰見秀寒松。不覺歸途遠。吟朋興味濃。

評曰　前半得渲染妙、

破產宣告公告

京城府元町二丁目六十一番地　食料雜貨商　樺萬吉

右ノ者ニ對シ大正四年十一月二十九日午後三時破產宣告ヲ爲シタリ
詳細ハ同年十二月一日ノ京城日報朝刊ニアリ

京城地方法院

商業登記公告

名稱並ニ地番號ノ變更ニ依リ株式會社第一銀行ハ北海道後志國小樽區色内町武拾番地ノ支店所在地ヲ同區色内町六丁目參拾七番地ト變更シタリ

商號新設　商號日之出屋、營業所京城府大和町武丁目拾五番地、營業ノ種類煙火製造販賣、商號使用者ノ住所氏名同所富田虎吉

右大正四年拾武月六日登記

京城地方法院

商業登記公告

一 振威農林株式會社登記事項中變更　京畿道振威郡西炭面金岩里武拾八番地ノ本店所在地ヲ左ノ通リ變更シタリ　京畿道振威郡西炭面金岩里武拾八番地

一 同會社ノ支配人登記事項中支配人ヲ置キタル場所ヲ左ノ通リ變更シタリ　京畿道振威郡西炭面金岩里武拾八番地

右大正四年拾武月九日登記

京城地方法院平澤出張所

廣告

來る大正五年一月一日新年祝賀の爲名刺交換會を開催し以て往答の禮に代へむとす御贊同の諸彦は左記事項御承知の上會費金五拾錢を添へ京城府廳へ申込まれ度し

大正四年十二月

丙辰名刺交換會發起者　原田金之助　金谷充

記

一 會場　南大門公立尋常小學校構内
一 日時　大正五年一月一日午前十一時
一 申込者ハ名簿調製上必要アルニ付住所、職業（在勤先ヲ記入スルコト）氏名、原籍（府縣ノミ記入スルコト）電話番號ヲ通知ノコト
一 申込期限　大正四年十二月二十日正午限リ期限經過後は申込を謝絶す

特價發賣申込の好時●

青坡吉村潔君著

銃獵之趣味

見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり道は其の銃器を悉知せざるが爲なり

本書は銃器の如何なるかを説き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳説せり

獵犬の使用と善惡を説き朝鮮の好獵地へを敎ゆる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢　特價金三十錢（郵税除く）

發行所　京城太平町二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社

金儲之覇王

京城黃金町四丁目（電話二六五二番）　日之出[illegible]商會

家庭内職生大募集急告

▲弊會は朝鮮に於ける新案美術ゴム品製造界の元祖本業は土地遠近老幼男女山間僻地を問はず自宅で出來賃本十圓内外月收廿圓以上其製品弊會引受永遠取引年中無休海外輸出前途有望の好職業志望者は來店又は郵券七錢送れ見本品就業案内書送呈

●大正式（自轉車人力車各タイヤ復舊修繕機械）機械大賣出

▲弊會發案の大正式機械と全く異り大改良天下無双の最新式機械は從來内地等に在る正業者は勿論家庭用最適當志望者は來店又は郵券四錢送れ就業案内書送呈今回百名限り左の大景品付販賣す

●自轉車景品付大賣出急告

弊商會發賣の自轉車　日之出號　インバイヤ號　タイム號　バード號　堅牢無比　天下一品而も價格廉價此際開業披露の爲め左の大景品付大賣出す

□景品　一等自轉車貳臺　二等修繕機五臺、三等タイヤ五組、四等ベル十個、五等ゴム糊百個空籤無し

新刊書御案内

書名	著者	價
◎朝鮮鐵道旅行案内	鐵道局	一、七〇
◎春の水	ツルゲーニエフ	一、五五
◎佛蘭西語詳解	前田仁太	一、七〇
◎明治大正二萬三千句	高橋晩紅	一、八〇
◎債權者の權利と損害豫防策	難波誠四郎	、九〇
◎契約書式大全	龜谷正司	二、〇〇
◎警察行政要義	小濱松次郎	二、〇〇
◎代數は如斯解義せよ	眞邊仙一	一、七五
◎化學は如斯練習せよ	小林益一	一、七五
◎美人禪	留岡清泉	一、〇〇
◎相場用語全集	先山泰	一、〇〇
◎良心	三木露風	一、〇〇
◎うき世	押川春浪	一、二〇
◎金剛草	夏目漱石	一、二〇
◎自然の奇觀	植山又次郎	一、五〇
◎茂睡考	徳富猪一郎	一、五〇
◎自然界の現象	植山又次郎	一、〇〇
◎恩給大鑑	伊藤正懿	一、五〇
◎現代の政治	吉野作造	一、三〇
◎日蓮聖人傳	蜷川龍夫	一、八〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

理想の家庭

國民新聞社編

辱 皇后陛下 各宮殿下 納嘉御

定價五十錢　郵税八錢本社負擔

内容一斑

▲理想的家庭　德富猪一郎氏▲敎育　下田歌子女史▲結婚　鳩山春子女史▲育兒　瀨川昌耆博士▲衞生　吉岡彌生女史▲交際　山脇房子女史▲住宅　伊東忠太博士▲中流の納戸と裁縫部屋　羽仁もと子女史▲室内の裝飾　井上秀子女史▲庭園　長岡安平氏▲園藝　鈴木武太郎氏▲臺所　入澤博士夫人▲家庭料理　赤堀峰吉氏▲家庭經濟　嘉悦孝子女史▲下婢の使方　加藤博士夫人▲家庭の娛樂　巖谷小波氏▲衣服　堀越千代子女史▲洗濯　宮川壽美子女史

本社は現代斯道專門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より、育兒、衞生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尚諸先生考案の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。是非共一冊を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、

大取次所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

十日の二月限

大阪前場十二錢接寄十八錢の入電

▲後場鈍狀　[illegible]

◎有難き御沙汰書

高田文部大臣は十日午前十時卅分宮中に參內し御座所に於て畏くも親しく陛下より左の御沙汰を拜したるが是陛下の寳に教育を御軫念あらせらるゝ御思召なるを以て文部大臣は是れを拜し感激措く處を知らず直に全國に周知せしめ御聖旨の貫徹に就き別に訓令を發する筈なり(東京特電)

御沙汰書

皇考夙ニ心ヲ教育ノ事ニ勞セラレ制ヲ定メ律ヲ布キ亦詔シテ尊祖ノ大綱ヲ昭ニシ給ヘリ朕遺勅ヲ紹述シ倍々其進行ヲ圖ラムトス今ヤ人文日進ノ秋ニ方リ教育ノ任ニ當ル者克ク朕カ意ヲ體シ以テ皇考ノ彝訓ヲ對揚セン事ヲ期セヨ

第卅七回帝國議會

衆議院(十日續き)

▲豫算總會第一日

朝野兩黨間に如何なる大論戰を惹起するならんと多大の興味を以て期待せられたる豫算總會は十日午前十時四十五分開會片岡委員長型の如く開會を宣し質問通告者三十三名あり各派交互に發言を許すべしと宣し劈頭武富藏相登壇、大正五年度豫算の內容につき本會議に於てなせる處を詳述し次で

△加藤海相 登壇、海軍擴張費の內容說明をなし八々艦隊は去る明治三十九年の內閣當時より其の必要を認めたる處にして八四艦隊は其の一部なりとて更らに建造の內容を詳述し終るや在野黨の領袖政友會の

△元田肇氏 は大隈首相及び陸相の缺席は甚だ遺憾なるが政府は此の儘議事を進行せんとするか將た臨時總理大臣を置くやと質し一木內相は首相は明後日頃より出席し得べく又た陸相も明日より出席さるべきにより成るべく此の儘進行せられたしと望み次で通告順により

△齋藤珪次氏(政友) 登壇 首相の病氣は個人としては同情に堪へざるも國務の大事たる豫算の審議に際し臨時首相を置くも支障なきにあらずや又た陸相に對しては聞かんとするもの多々あり故に兩大臣の出席まで委員會を延期するか將た臨時首相を選出すべしと主張し野黨は之れを贊し與黨は此の儘進行せんことしたるが岡崎久次郎氏(同志)より政府と相談の上に決すべしとの溫和說を出したるより片岡委員長より政府の所見を質したるに一木內相は依然首相陸相の分は保留し其の他は出來得る限り出席國務大臣に於て辯明すべければ此の儘進行ありたしと望み武富藏相は更に軍需品賣却代金國庫收入に關する齋藤氏の質問に對して簡單に答辯し片岡委員長より首相、陸相に關する質問を保留しては如何と議場に計り元田氏は午前は之れにて休憩し政府と交涉の上適當の方法により圓滿に解決すべしと述べたるより委員長は一時休憩を宣す

▲休憩後の總會

午後一時二十五分再會 劈頭元田肇氏(政友)は首相陸相は十三日より出席せらるべき由なれば其迄會議を延期せられんことを望む若し尙ほ同日に至りても出席なき時は假設首相を置かれたしと述べ松田源治氏(政友)之れに贊成し

△高木益太郎氏(國民)は首相に對する質問は他日に保留し先づ海軍大臣に質問すべしとて歐洲戰に於て潛水艇、飛行機の活動著しき之等の武器發達の結果巨艦巨砲主義に變更を加ふる必要あるを信ず政府の所見如何と質し

△加藤海相 登壇 政府は主力艦隊に變更を加ふる必要を認めずとて歐洲戰の實況を引證して應酬し

▲法相と高木氏

更らに高木氏は裁判所の復活、裁判官の任命、不良少年取締、出獄人保護政策如何又た刑事訴訟法改正の要はなきや如何と質し

△尾崎法相 は裁判所復活は地方人の希望によりたるものにて財政の都合上の一部に止めたり裁判官の登用は目下研究中なり不良少年取締は大體の調査を了したるも未だ具體的ならず出獄人保護と同樣なり、刑事訴訟法の改正は近く議會に提出すべしと答へ

▲皮肉の應酬戰

高木氏更に大典に際し恩赦を奏請せしは如何なる理由なるやと問ひ進んで選擧取締に關する不法を詰り尾崎法相が滋賀縣に於ける一候補者の爲應援演說を爲したるが如きは不法に非ずやと皮肉に切り込めば

△尾崎法相 は悠然として御大典に際し大赦に據らず恩赦を奏請したるは瀆職議員等の無罪になる等種々の理由による又予は各地方監獄を視察したるも應援演說を爲したる事無しされど個人としては爲したる事ありこは立憲國大臣としてあり得べき事なりと巧みに逃げ

△高木益太郎氏 は尙ほ海軍收賄事件に關し三井重役等の裁判確定せざるに三井より七十五萬圓の出獄人保護の寄附を受けたるを素破抜きて法相の無責任を責め進んで大浦事件に論及し大浦內相が買收したる金額の出所如何と糺問すれば

△尾崎法相 は三井家よりの寄附は自然的の寄附にして其間何等の疚しき事無し之を受けたるを以て司法權の獨立を疑ふは誤まれるも甚しと辯じ大浦氏の買收したる金額は機密費中より支出したるものにあらずと答へ其他の質問は多く想像的ならん想像的質問に對しては答ふる能はずと今度は皮肉を以て酬へば

△高木益太郎氏 は尙は執念くも大浦氏不起訴理由に就き攻擊するや尾崎法相は前數回辯じたると同樣の答辯を爲し午後三時五分散會せり(東京特電)

◎議會提出案

十日午前十時より貴族院大臣室に於て定例閣議を開き大隈首相、岡陸相の外閣僚全部出席し議會提出案に就き協議したり(東京特電)

◎內田氏敍勳

內田元臺灣民政長官在職中の功勞を錄し十日左の如く敍勳の御沙汰あり(東京特電)

敍勳一等授瑞寶章 從三位勳二等 內田嘉吉

◎將佐官敍位

十日宮中に於て定期敍位及び特旨敍位式を行はせられたり重なるもの左の如し(東京特電)

敍從三位 第十四師團長陸軍中將正四位勳二等功三級 山田忠三郎

敍從四位(各通特旨)
陸軍少將正五位勳二等功四級 平岡茂
同步兵大佐正五位勳二等功四級 矢野正躬
同砲兵大佐正五位勳三等功五級 岩倉条男

◎航空隊長以下任命

陸軍省にては十日從來の氣球隊を廢し之に代ふるに航空大隊を置く事となり有川隊長以下左の如く任命されたり(東京特電)

航空大隊長 陸軍工兵大佐 有川鷹一
補航空大隊附 陸軍工兵中尉 長澤賢二郎
補航空大隊副官 陸軍工兵大尉 伊藤赳
同 德川好敏

◎高齡者市公民榮光

東京市高齡者及び市公民六萬人は家族同伴にて十一、十二の兩日午前九時より午後三時迄濱離宮、新宿御苑の拜觀を差許さる(東京特電)

◎大村代議士逝去

衆議院議員中の最年長議員にして前議會に於て全院委員長に選出されたる靜岡縣選出公友會員大村和吉郎氏は九日上野に於ける東京市奉祝會に赴き十二時歸宅後俄に宿痾起り午後三時逝去せり享年七十七歲惜むべし(東京特電)

◎李埈公京都發

李埈公殿下は十一日午前五時京都發歸鮮の途に就く筈(大阪特電)

◎中村都督歸任

中村關東都督は十日神戶發歸任す(大阪特電)

◎野田副總裁門司發

野田東拓副總裁は十日朝東京より下關に著同夜關釜聯絡船にて歸任の途に就く(門司特電)

雜報

◎泰川灌漑(竣成)

鮮人の感情一變す

▲歡喜極に達す 泰川灌漑一たび成りて文明的技術の偉力を由りに實見したる結果地方鮮人の感觸は茲に一變し、工事完成以前に於て東拓會社が如何に水田經營の事を勸獎に努むるも更に耳を假さずして、明年より成否など思ひも寄らずと危懼せしものが、初めて翻然自覺し、來年よりは是非共自分の田に水を引きたしと希望し來るもの踵を接し甚しきは熱心の餘り自から樋門を開きて通水の狀を檢する者もあり地方鮮人の歡喜は殆ど其極に達するの觀ありき、而して鮮民の態度に於ても毛細溝の設置につき速かに位地を示し呉れよと會社の出張員に迫り一々應ずるに遑なき程にて偶ま一線にても指導を誤れば次から次と希望者續出するの有樣、以前とは打つて變りし人氣なるに當事者は甚く悅び居れり

▲自他の慶福 斯くの如き泰川灌漑工事の完成は會社が當初の目的を達するに遺憾なき成功を示し、地方產業の開發、人民の福利增進の上に偉大なる功果を及ぼすに至れるが、半島產業の發展の爲め洵に慶すべき次第なり而して該工事完成後定州の憲兵分隊長より會社へ宛て今や通水して充分に用水の普及せるを見て地方人民は悉く感嘆せり、當初鮮人の反對に心配したりしが今日に至りては全く安心せり此上は此の水利事業が圓滿に實効を擧げむことを希望すとの意味の書面到來せり茲に多年の大問題にして殊に北鮮地方として未曾有の大工事が完全に成就したるは會社の最も滿足する處なり、而も最初鮮人にして此の工事に就て反對の態度に出でしものが來年よりは米の飯が食へるとて喜び合ひ餅を搗き會社出張員請負人等の許に續々來るの有樣にて其無邪氣なる態度愛すべきものあり尙ほ泰川灌漑の水量についても現在は所要水量の約倍量もあり、夏の渴水時には多少減ずると雖も水不足するが如き事なきを確かめたり

◎鑛業令發布期

朝鮮鑛業令は既に法制局より內閣に廻付し內閣は目下御裁の手續中なれば御裁可次第發布を見る可く其期は遲くとも本年末內なる可し、而して附屬法規は既に當局に於て編成を了し參事官室にて審議中なれば之れ亦總督の決裁を經て次第發布す可きも或は早くとも明春の交なる可しと

◎輸移出米檢查

檢查地と其程度

輸移出米檢查規則に基き各道にては其れ〱施行規定を設けて今秋より之れが檢査を勵行しつゝあり今其檢查地名並に檢查の程度を聞くに左の如し

▲慶尚北道 大邱、金泉、金烏山、若水、倭館、新洞、慶山、淸道、開浦、浦項の各地に檢查所を設け、慶尚北道輸移出穀物改良組合をして六月一日より檢查を施行せしめつゝあり檢查の程度は一に米穀檢查規則に依る標準なり

▲慶尚南道 釜山、馬山、晉州、河東、辰橋、泗川、三千浦、進永、龜浦、密陽、檜川、蔚山に檢查所を置き慶尚南道米穀改良組合をして八月一日より之を施行しつゝあり、其程度慶北に同じ

▲全羅南道 檢查所を群山に設け道に於て九月一日より檢查を開始す、其程度は慶南と同樣なるも下格米にして夾雜物百分八以上を含有するものは輸移出を禁止し居れり

▲京畿道 仁川、平澤の二個所に檢查所を置き前者は仁川穀物協會、後者は平澤米穀商同業組合をして十一月十日より施行せしめつゝあり其程度は全北と同樣なり

▲平安南道 鎭南浦に檢查所を設け鎭南浦商業會議所之れが施行者となり京畿同樣の程度を以て十一月一日より檢查を實行し居れり

▲全羅南道 木浦、麗水、法聖浦、筏橋、長城、松汀里、羅州、榮山浦、鶴橋の各地に檢查所を設け道に於て之を檢查す、其程度は輸移出米檢查規定に準據し且つ不合格にして夾雜物百分の六以上を含有するものは輸移出を禁止し居れりと

◎京浦電線直通

遞信局本年度の計畫に屬する京城、浦間直通電信線の工事は督勵の結果非常に進捗し昨今にては略竣成を告げたるを以て遲くとも明春までには其開通を見るに至る可しと

◎實業會幹事會

既報の如く京城實業會幹事會は九日午後二時より京城商業會議所樓上に開催し大和與次郎氏缺席し堀川立道、釘本藤次郎、天日常次郎、執行諸太郎、篠崎半助の六氏出席決議事項として幹事長及び會計幹事の互選を行ひ全會一致を以て釘本氏を幹事長に天日氏を會計幹事に推擧して兩氏の承諾を得、其より評議員の推薦に移り全會一致を以て五十名の評議員を推薦する事に決したるが更らに來る十三日役員會を開き其他の件に就き協議する筈にて今後同會員に對しては一定の標札を店頭に揭げしむることゝなりたり

■掛賣代金支拂月末

◎路貨又復下落

路貨又々下落其影響により東淸鐵道朝鮮鐵道局連帶貨物引換代金換算率を十二月九日以降百圓に付き百六十二留(落差二留)と協定成れりと

◎學校と大典記念

鮮內官公私立各學校に於ては大禮記念として諸種の事業を計畫せり其內官立學校の記念事業を舉ぐれば如左

▲京城中學校 本年五月より十二月まで職員は俸級二百分の一、生徒は毎月十錢(附屬校生は五錢)を醵出し之を經費として櫻三千五百本楓二千五百本を校內松林中に補栽し且つ其由を石に刻して永く記念となす

▲釜山中學校 校地域の三百二十九坪を大典記念園となし記念樹を植え且つ記念碑を建てたる外草梁街道より校門に至る四町半の專用道路に並木を栽植す

▲京城專修學校 校庭に記念樹二株を植栽せり

▲京城高等普通學校 大典記念室、教材室、標本室、科外教室兼暗室の四室を現在附屬校舍內に設置し其經費は職員生徒の醵金及び商業實踐部の純益金計三百卅三圓餘を之に充つ

▲平壤高等普通學校 從栗三十本を校地裏山三百坪の地に植栽し經費二十六圓餘は職員生徒の醵出とす

▲京城女子高等普通學校 資金として六十圓餘を職員の醵出、十圓を生徒作事賃金より醵出し校內に家業指導部を設置す

▲醫學講習所 銀杏、櫻、槐、欅、松を構內適當の箇所に植栽す

▲農林學校 面積百八坪の花園を域內に設け且つ十四坪の觀測場を置き尙ほ校友會にて雜誌の發行を始む

其他諸學校の記念事業は學林、植樹園、果樹園、桑田、文庫、貯金、養蜂、共金積立、記念館、其他運動機具の設備等主なるものにして公立小學校に於ける此等諸計畫設置の校數は三百四十七校、公立普通學校五百卅二校、公立中等學校四十校にして私立學校は四百七十六校を算せりと

◎教科書印刷高

總督府印刷局に於て本年度內に印刷す可き各學校生徒用教科書冊數は總計一百萬部に達せるが其內普通學校生徒用冊數約八十萬部、高等程度生徒用約四萬部、各種實業學校生徒用約二萬部等主なるものなり、而して鮮內各地の小學校に於て使用する文部省編纂の教科書冊數は約二十四萬部を算すと

◎檜垣道長官の視察

十日午後仁川の褒賞授與式に臨席したる檜垣長官は午後二時より久水府尹、川會頭平田協會理事等の案內にて仁川米穀檢查所に至り檢查員をして實地に夾雜物、包裝、量目、日刺の入れ方等を行はしめ尙長湍、延安、白川、通川、地廻、天安の各大豆に就き長官自ら優劣を檢し終つて檢查員に一場の諭告を爲しそれより仁川各學校を視察し午後五時三十分仁川驛發列車にて歸任せり

◎野田副總裁著期

野田東拓副總裁は十一日夜九時南大門驛著にて歸任すべき旨會社に電報ありたり

人事消息

▲高野省三氏(三井物產京城支店長) 十一日東京より歸任の途に就く

▲ビルマーフ氏(元山駐剳露國領事) 十日朝釜山より入京

▲阿部秀太郎氏(韓銀平壤支店長) 十日朝入京山木に投宿

吉弘大佐活動

(東京號別電) ……るべし……米人中より寒氣頭烈となれり

▲官邸の夜會 十一日首相官邸……

十一月は十月よりも乘車人員五千余……四圓五十八錢を增加し二千二百十……つて其運賃も亦六萬七百二十七圓……六圓四十錢となり一日平均收入に於……九十錢を增加して二十七萬九千三百……て二千三百五十四圓二十八錢を增加……相模宛郵便物は十二月七日迄に到達……見込のものは橫濱、其以後のものは……

歲暮大賣出し
食糧品一式
弊店本年の御贈答品は時勢に鑑み廉價にして且輕便なる好適品珍種を取寄容器に至ては最新新なる優美品を取揃へ申候間多少に不拘御用命被下度奉願上候
內外各國食糧品商 京城本町三丁目 森川商店 電話 二一〇七番 九三五番

大日本優清酒等
ハクツル
品質純良 衛生無害

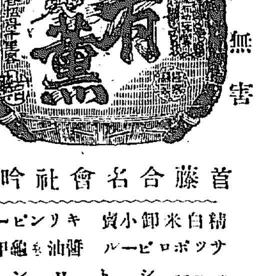
釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町四丁目十四番戶 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

眼科內科 小兒科 入院隨意
京城黃金町三丁目赤十字通(電話二四四三番)
院長 本田建義
本田醫院

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百廿五萬圓
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
株式會社 第一銀行京城支店
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

贊化病院
京城本町二丁目 電話二四番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(每日五名を限り無料施療す)

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入卸商
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番)
喜多金光堂
振替口座七八二番

無双醇良淸酒
衛生無害 品質無双


首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醬油を甲萬 各種 三矢サイダー 各種
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町(電話一一七一番)

內科 小兒科 入院隨意
京城明治町(元善隣學校隣)
中島醫院
院長 中島貞信 電話三七八番

[illegible]取調中なるが右は福岡の俘虜逃走事件に關するもの丶如し(門司特電)

▲大藏[illegible]廢止せられ關係官吏に叙勲恩賜金あ[illegible]

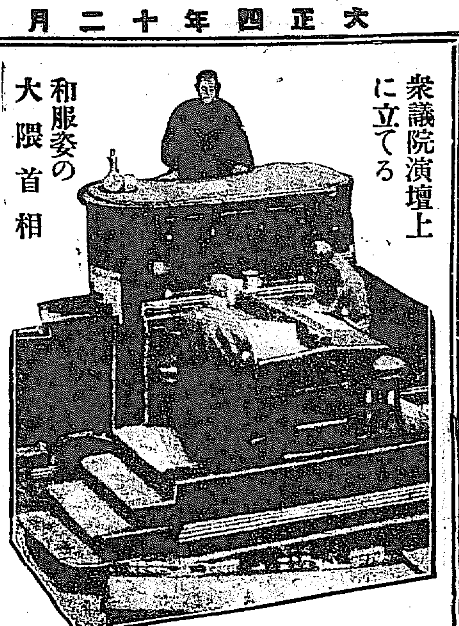
大阪[illegible]特電(十日)

▲東京寒氣强烈　東京は十日[illegible]

◉山東鐵道收入增加　山鐵の十、十一兩月の收入を見るに[illegible]圓三十二錢にて小荷物賃は三百八十[illegible]も七十[illegible]錢を減じ八百九十[illegible]數は一萬四千三百五十七噸の激增を[illegible]計に於ては六萬一千零二十三圓八十[illegible]六錢を增加し三十五萬八千七百六十[illegible]

▲本日の[illegible]

◉第二艦隊宛郵便物　第二艦隊司令部及び第二艦隊所屬[illegible]



衆議院演壇上に立てる　和服姿の大隈首相

◉金剛山を背景とした　歴史的戯曲の一齣を作りたい

＝自然よりも人間を見よ＝

嘗て黒頭巾横山健堂君が書いたものの中に『私の友人鳥居龍藏君は富士山に登らぬ、富士山上には

□人類學の材料

が無いから詰らんと云ふが、沒趣味も茲に至つて甚だしい』と大に私を揶揄したことがある、私は富士山と同じ意味に於て這回金剛山も見たく無かつた、併し江原道の調査が進んで杆城に著いた時、土地の憲兵分隊長や郡衙の人々にあつて『あの金剛山萬二千峰の最高峯たる毘盧峯の下には新羅敬順王王子の墳墓が遺つて居る』といふ談を聴きそれでは新羅朝末期の義人を弔つて來ようと急に登山を思ひ立つたのであつた。何分にも山麓温井里から毘盧峯の絶頂までは約七里の道程であると聴いたけれ共あの海拔五千餘尺の

□神聖なる山上

に千年の怨みを抱いて眠むつた人があるとは面白いと思つたから、とう〳〵登山することになつたのである、途は夥多の人夫を引伴れ擧務局の澤君や憲兵分隊長と共に夜半一時に温井里を出發し、黎明金山の岩が紫色に輝く時刻に毘盧峯の下に著いた、王子の古墳は大毘盧峯と小毘盧峯との間に挾まれた峯の鞍部にあるが惜しい事には最近何者かの爲めに發掘されて私共の研究材料は少しも發見することが能きなかつた、古墳は金夫大王の墓と稱して通りかゝりの心なき旅人すらも草をむしり花を手向けて行く相なが土臺は長さ二十尺の石垣を正方形に疊いて其の上に

□土饅頭の墳墓

が作られてあつた、併し盗掘者は此の土饅頭を掘り崩して内部の副葬品等を持去たので吾々は又空しく元來し徑を引返し神溪寺の幽谷三聖庵あたりからは谿流に沿うた危險なる金剛山の夜道を踏むで歸つたのである、其れで東海の名山萬二千峰の

姿も闇を行き闇を還た

次第で何等風物の偉大なるに接するを得なかつたが私は寧ろ金剛山の自然よりも金剛山を背景とした人間を見たいと思ふ、新羅千年の社稷が衰頽に近かんとして彼の敬順王が國を擧げて高麗に降らんとした時、獨り主戰を唱へた王子は實に勇ましかつた而して議遂に容れられず空しく金剛山の岩窟に倚つて

□麻衣草食した

王子の心事は一掬の涙なき能はずである、王子は空しく金剛山の草庵に死んだ、而して我が遺骸は遥かに高麗の方を俯瞰すべき毘盧峯上に埋よと云ふ、其淋しき王子の葬列が大金剛の岩角を攀ぢつゝ靜かに〳〵毘盧峯上に搬ばれる時、弔ひの從者は『あはれ新羅朝の最後よ!!』と泣いたであらう、われ〳〵が想ひを新羅朝千年の昔しに馳する時、其處に歴史的戯曲が生れなければならぬ、私は又新羅の末路を慶州に尋ねるよりも寧ろ金剛山に味はう可きであると思ふ、慶州は殆んど刄に血ぬらずして無事太平に

□高麗朝に併呑

された土地であるが金剛山には實に斯の如き血と涙との悲劇がある、私は這回暗の金剛山のみを見たけれ共一度金剛山を背景とした新羅王子の戯曲をかいて見たいと思ふ煩悶を讃に隠せんとする

容貌美しき王子に扮する役は誰れが可からう、其處には又一人の優しい女官も出さねばならぬ、又西行のやうな僧侶もなくてはならぬ、斯うすると其處に

□面白い史劇が

出來ようと思ふ、斯く金剛山を觀察する時私はこれまでの案内書が唯だ大金剛の山水のみを見て其の間の人間を忘れて居るのを慊なく思ふ、これは殺風景な植民地的見方であらうと思ふけれ共今少し血と涙のある金剛山を見て貰ひたい、新羅朝逝き高麗朝亡び去つた今日では王子千秋の怨みも帳消しになつたと思ふけれ共兎に角あの金剛萬二千峰の最高峰に新羅の王子が眠むつて居るとは何う考へても一篇の歴史的戯曲である(理科大學教授鳥居龍藏氏談)

◉男ばかりが我儘は通るまい

矢嶋揖子女史の請願書提出

妻の姦通は處罰して夫の姦通は不問に附する今日の不備な刑法を改正し民法中の或る部類に一夫一婦の精神に基いた二三の條項を加へるか又は現在の諸項中にその意味を追加されたいといふ意見を議會開設の抑もから唱道し且つ毎期請願してゐるので有名な矯風會々長矢島揖子女史は今度の御大禮を機として種々の弊害を發し藝妓連や彼等を常に交際場裡に無くてはならぬ者としてゐる紳士連に一矢を酬いその上に十一月上旬には女史自ら大阪から關西地方に出馬して拜觀人の無料休憩所を設け神戸では旗の日會の賣上純益約五百圓を投じて港外碇泊の第一艦隊乘組水兵諸君を招待する等却々青年號も及ばぬ活動を見せてゐるが今や議會の開會と共に本年も例の如く一夫一婦の勵行法を議會に請願す可く請願書を寛め貴衆兩院に二冊宛四冊を出すことに決して準備中である

◉珍らしい趣向の新年繪葉書

店頭に現れた

年賀郵便の取扱ひは十五日から始まる、年賀用の繪葉書の市に出るのも今頃からだ、市中の繪葉書屋の店頭にはボツ〳〵珍意匠を凝らしたものが見えそめた、毎年内地の

■繪葉書製造元では

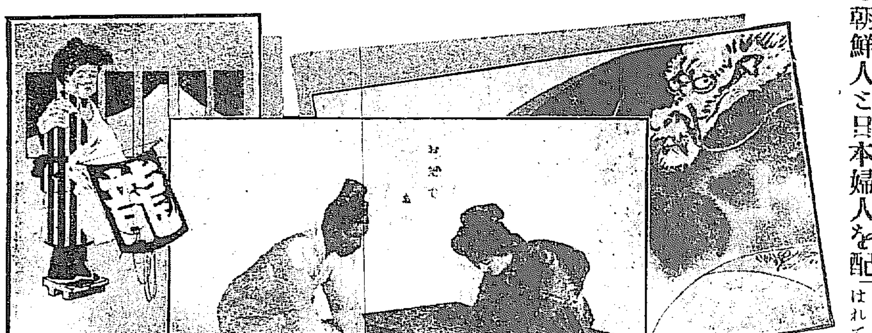
その年の干支とか文字入のものは八月頃から調製にかゝつて十一月頃迄に朝鮮などの送荷は終つてしまひ十二月に入ると直ぐに店に駢べるわけだが今年は御大典でその方の葉書に追はれて新年用まで手が廻らなかつた結果餘程遅れて各所とも昨今になつて漸く一通入つたが全く整つたといふところまでは行かぬさうだ、今年の新らしい傾向としては文句を認めた方では御大典第一次の新年を祝し奉るといつた樣な意味を記したものが最も多く月並な謹賀新年は勿論多いむだものでは東西の諸家の手になるものが多く中々美事なものもある、

■勅題の祝寄國に因

干支に因んだものでは辰を描いたもので眞面目なものが多く兎が絹帽を冠つたり虎が叩頭をしてゐる樣なものは少ないのは龍といふものゝ本體が存在しないためでもあらう、昨年頃から朝鮮人の間にも年賀狀交換の風が行なはれて來たがそれと同時に普通の葉書より繪葉書を用うるものが多い、しかし餘り上等物は喜ばれず

■一枚が一錢以下の

ものでなければならぬ樣な傾向があるのは其趣味の幼稚なせいでもあらう其に對する今年の新しい試みとして朝鮮人と日本婦人を配



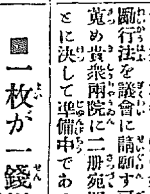
らつて新年の挨拶、初詣で、謡ひ初めといつた樣なものを作つたところもある、次に葉書の印刷も市中の印刷屋でも看板を掲げてゐるが百枚の印刷費は郵便葉書を持つて行つて卅五錢といふのだが今に競爭が烈しくなれば二十錢位までに下つて行くのが例である、文句は

■御大典に因なんで

いろ〳〵奇抜なのがあるが今のところ餘り注文はないといふ、名刺の方は新アイボレで百枚二十錢位から十錢おき位で八十錢位まである、今年は景氣のいゝせいか注文が多い見込みだといふ

◉革命動亂と大谷光瑞師

十日朝郵船山城丸にて上海より門司に著せる鈴木某氏の談に依れば革命動亂勃發の當夜杭州より著くべき筈の大谷光瑞師は七日夜に至るも著かず正金銀行支店にては憂慮し居れりと(門司特電)



十日の朝天安郡温陽の者で大石と名乘る翁さんが本社を訪ねた▲來意を聞くと朝鮮の田舍では昔からの習慣で穀物の取引は量器に山盛にする▲ところが田舍に行くと圓筒形の桝と方形の桝と兩方使はれてゐる、然かも内地の如く一斗ではなく五升桝が多い▲乃で方形の桝に山盛にしたのと圓形のに山盛にしたのとでは方形の桝の方が餘程澤山入る▲それでその間に起る苦情も面倒なら馴れない商人は圓筒形の桝を使ふ朝鮮商人にシテ遣られる▲非常に不便だから新聞の力で何とかして貰ひたいといふのだ▲度量衡器の改善統一に關しては大正二年十月に總督府訓令第五十三號で地方官廳に命令し當該官憲から夫れ〳〵官吏を派して新器の普及と不正取締に努めてゐるから自然改善されるだらうと法令輯覧から度量衡器に關する法規を引張り出して説明して遣つたら得心して歸つて行つた▲苦情の言ひ方は實地桝を扱つてゐるものだけに中々鋭どかつた▲演藝場問題で中券さん同じく運動してゐた京城券でも矢張り中券と同樣の決議をしたさうだ

◉産婆看護婦試驗合格者

七日より京畿道廳に於て執行せられたる産婆看護婦試驗の合格者は産婆六名看護婦七名にして其氏名如左

▲産婆　錦織小馬治、桑川たか、坂本ミネ代、田島きく、大枝はな、徐丙淑

▲看護婦　イ、エル、スイルツデイリヤ、メー、パビルス黒岩まさよ、荒木ひも、今田さか、吳貴淑、崔柔誼

◉觀世會大會

觀世會京城支部は野尻紋吉氏を招聘し後會員増加し益々盛況を呈し京城觀世謠流の權威として知られたる野尻氏と會員間兎角意思の疏通を缺き面白からざる風聞ありたるが今回圓滿に解決し來る十九日午前十時より千代本に於て御大典奉祝に忘年會を兼ね大謡會開會何人も傍聽隨意の由

▲素謡　萬歳、大典、八島、羽衣、百萬、舟辨慶、布刈、田村、葛城、班女、融

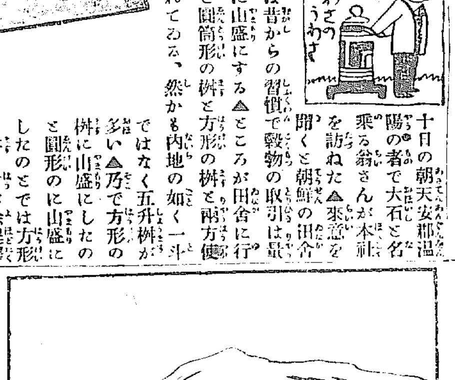
▲囃子　岩船

▲一調　芭蕉

▲仕舞　敦盛

▲番外素謡　鉢木

初冬小品(拾)　酒買ひに――石田富造



◉出齒男は一年

忠南牙山郡々内面生れ當時江原道伊川郡龍甫面龜安里徐云心方居住李明國(三)は十一月七日夜豫て懸想しゐたる同居人崔今植妻李姓女に對し上等衣類を買ひ與へ遣るべしとて口説きたるも同女の應せざりしより燈火を消し怪しかる振舞に及びたるも同女は極力抵抗し大聲にて救ひを求めたる爲め遂に目的を遂し得ざりし所同女に告訴せられ十二月八日京城地方法院に於て懲役一年の判決ありたり

◉鼠色毛布一枚

京城黄金町四丁目日雇稼車明均(三四)前科一犯の者なる所十二月二日黄金町四丁目溝口市太郎方邸内の竿に懸けありし鼠色毛布一枚(二圓八十錢)を竊取し之を弟に使はし古物商に金六十錢に賣りたるため本町署に引致せらる

◉情婦を斬つて自殺す

忠南禮山郡邑内土岐伊三郎方居理髪職山口慶造(三)は豫て瑞山郡泰安面東門里金鐘模方同居人濱崎こふで(三)と馴染み末は夫婦の約束迄なしたるも近來女の素振りよそ〳〵しく我が意に從はぬを憤り本月三日夜同女を殺害せんと二箇所許り斬りつけしも傍人に遮られて目的を遂せず加害者は兇行に用ひたる剃刀にて咽喉を斬り現場に於て自殺したり

◉汽車狂の少年

仁川署に八日京城本町署より京城旭町村上光雄の長男明(一〇)が八日夕方無斷家出して行衛不明となりしとの捜査手配ありたるを以て仁川梅岐驛各派出所に手配中の處九日一番列車にて下仁し仁川驛に下車する處を監視の巡査に取押へられ保護の上父に引渡されたるが明は一種の汽車狂にて數日前にも無斷家出して釜山に行きたる事ある外是れ迄も數度隙を窺ふて家出し當てもなく汽車に乘り廻りたる事ありと

◉濟生院へ寄附

朝鮮旭會の整理委員なる京城櫻井町岩山德兵衛氏は同會整理の結果に依りて得たる金十圓を濟生院兒の慰安金中に寄附したり

◉忘年琵琶大會

橘流筑前琵琶靑年大家坂井旭水氏の旭翠會に於ては忘年筑前琵琶大演奏會を十一日(土曜日)午後正五時半より大和町淨土宗開教院に於て開催す其重なる曲目は高木旭句蓬萊の蓬、富谷旭晴菊の雞、中野旭臨伊賀仇討坂井旭水師山崎合戰なりと

小切手紛失廣告

振出人佐伯哲殿番號H○四○三一京城銀行宛額面拾八圓三十五錢振出人近藤安吉殿番號ヒ四六九五五商業銀行宛額面九十九圓十四錢、振出人毛利辰二郎殿番號チ八六七、十八銀行龍山支店宛額面七百七十圓九十五錢振出人住友利左衛門殿番號○一一○六第十八銀行龍山支店宛額面百三十四圓三十錢

右紛失仕候ニ付自今無効ニ御座候

十二月十日　釘本藤次郎本店

京日案内

◉普通　一回前金三十錢(無割引)　署名一回毎に金五錢增

◉外交員至急募集　成績により相當手當支給す○京城太平通二丁目三二六番　△商業銀行朝鮮債券部　150

◉中學△女學△講義錄　新會員募集△規則書進呈　京城吉野町○大日本國民中學會支局　149

◉見習看護婦至急募集　希望者は履歴書携帶本人來談　黄金遊園前電車通　電話二九三四番　▲上野醫院　148

◉貸家　日本建温突付三室至極閑靜　官吏向　漢陽公園南裏　管理者　龍山印刷局先加中　79

◉古本ならば野村　買入高價御報參上　京城本町一丁目(明治町筋)　電話二六三六番　野村書店　112

◉日鮮人男女職工卅人募集す　志望者は午後來談あれ　▲南大門外(岐阜屋旅館裏)鈴木工場　131

◉番外　一回前金六十錢(無割引)　署名一回毎に金五十錢增

移轉　市區改正の爲め左記へ移轉　營業科目　自動車　防火扉　金庫　事務所　京城支那領事館通　淸韓洋行　電話四九四番　147

新年の御撮影は今度開業の大城寫眞　明治町二丁目　精巧に限る技術正確調製迅速廉價提供　145

得意廻り入用　廿歲以上廿五歲迄　店員　味噌醤油販賣に經驗ある者市内に確なる保證人を要す本人來談あれ　太平通二　味噌醤油問屋　遠藤商店　142

歳暮品安價提供　大評判　黄金町三の一　丁目山田文殊堂の景品付賣出を是非一度御試あれ　五十錢買上に籤一本　○電話なら(フクヨク)二九四九　141

內科　兒科　専門　胃腸　呼吸器病　京城本町二丁目元中島病院跡(入院隨意)　山田醫院　電話二八八〇番　81

猪肉發賣　一斤貳以上御求の方は御値段半額　○精肉△すき燒は特に御相談申上候○明治町二丁目　電話壹〇二四番　石田本店　139

▲質屋移轉　元營業所支那領事館通に御取扱申候　黄金町二丁目長橋通入　電話二九一六番　田村質店　902

平壤銀牌受領　内田釀　醤油は今回の大共進會に於て銀牌を受領致し候　龍山局前電話二四六番　内田出張店　939

公證人　京城永樂町一丁目十七番地　山邊勇輔　電話二八四〇番　64

◎質　○秘密を守り精々勉強仕り親切に取扱申候　黄金遊園前電車停留所横入　電話二一一一番　金子質店　96

梅毒　産婦　結核　内科　外科　黄金遊園前電車通　上野醫院　◉診察夜九時迄◉往復電車の便有　電話二九三四番　97

恩給　年金　無保險　低利　長期立換　短期　○京城南大門外　山口屋　98

恩給　金即時立替低利手數料極安　各地方在住者不及上京便法有　代理店依囑　京城若草町　西村商會　102

◉ほねつぎ(うちみくじき)等　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　127

齒科　専門　橋本齒科醫院　南山町巴城館通　電話二九三〇　齒科醫學士　橋本清次郎　125

◯朝鮮語課　◯英語課　新學期　三ケ月修業　各科新設　南大門通漢城銀行向ひ　京城青年會　137

◉文房具店買受　讓渡し希望者は左記へ　京城櫻井町一　戸部質店　電話九八五番　138

內科　胃腸病　得業士　石川淳夫　京城本町一丁目　◉診察夜九時迄　◉専用二七二九番　電話三三三番

産婆　塙富美　南米倉町百六十四番(えびす湯隣)　ハナワ　電話二五五四番

恩給年金類立替　京城武橋町二十二番地　日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　104

産婆　宮良とし　南大門通三　藤木商店横入　電話一四三九番　◉親切を旨とし迅速御依頼に應す　108

三田會忘年會

十二月十四日(日曜日)左記の通り京城三田會忘年會を開催致候に付慶應大學出身者及關係者は循て御來臨被下度候

京城　三田會幹事

日時　來る十四日午後七時

會場　旭町白水

會費　金貳圓五拾錢(當日御持參の事)

申込所　京城太平通り國江商會内　京城　三田會事務所

父恒儀病氣の處十日午後二時死去致候間此段廣告仕候

葬式の儀は來る十二日午後二時途中行列を廢し若草町曹洞宗別院に於て相營み候

男　菅順道

親族　桝田傳平

總代　益野倍太郎

友人　高井貞治

總代　楢崎東陽

葬具萬般盛花裝飾能り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差閊無之候　京城大和町一丁目(總監部通)　電話二四三八番　大和葬儀舍

電二五六七番　旭町二丁目(名古屋城下)　株式會社　京城葬儀社　本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候　靈柩馬車の設備有之候　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番

千生瓢（66）

須藤南翠作　筒井年峰畫

曉將（六）

盛政は順序の正しい使者の口上を聽くうちにも、又兵衞基次と名乘る壯士が、敵中に入つて寸分の恐れも抱かず、平然として口演する勇氣を只管床しく思つた。口上を中途で斷つて、先づ意向を探つた上で、兎も角も後の辭の增減をしようとする心中の餘裕が、並々の物頭風情には、出よう筈がないと考へて、態とそれには答へなかつた。

基次は姑らく口を噤んで居たが、再びまた口を開いて、

『御答へのおざらぬは、御不承知かと存じまする。去りながら殿、當砦に籠る者と申せど、越前方に露聊か遺恨を存する者もおざらねば、其等の命を斷たれたとて、別に心地好き事もおざりますまいと、憚りながら此基次は存じまする』と、臆面もなく言つて退けた。

盛政は默然としてうち仰いで居たが、やがて基次の面を視ながら、

『如何さま其方申す如く、桑山羽田など申す大將逹さへも、好みもなければ怨みもない。況て其餘の人々に對して、何の意趣を存すべき所以はない。大將逹の出城せらるゝさへ、後めたく追ひ討ちをかくべき作法もないのに、其餘の人々の首切つて、更に心地好しと思はうぞ。さらば兩大將の出城は、何時と御定めなされたか、先づ其より承はらう』と、穩當な答へをした。

基次は鬼佐久間の名を聞いて、無謀な暴言を溢せらるゝものと覺悟して居た。其が直接に當つて見れば、案の外に人の言を聞き取つて、慈悲ありげな應對に接したので、却つて異の英雄を見たやうに覺えた。で、基次は謹んで平伏し、

『さればおざりまする。開城の上は追討御猶豫下さるゝや否やの御諚を篤と承はりました上、基次一旦立ち歸り、兩將はじめ一同協議仕り時刻を定めて、更めて御旨を伺ふ筈におざりまする』

『如何にも左樣あるべき事ぢや。然らば早々立ち歸つて、盛政承知のよしを傳へ、再び參つて申すやうに、軍陣の習ひ、猶豫の罷りならぬ事は能く／＼相心得て宜からう』

『御意心得申しまいた。さらば、暫時御待ち下されませう』と基次は一禮して退陣した。

姑らくあつて又兵衞基次は引つ返し見參に入つた。

『何とおざる、兩大將の出城は何時と極つた』

基次はハツとばかり首を低げて。

『御諚の趣き　立ち歸つて桑山羽田兩大將に傳へまいた處、兩大將申しまするには、玄蕃允殿、武勇に長せらるゝばかりでなく、世にも情厚き大將にて在するよ、されば、我等兩人も、城を開いて立ち退き申すであらう。但し白晝に出城致す事は他の砦の手前もあつて、如何にも心苦しければ、夜に入り次第、速かに退城仕り申さう、其後へ御入り替り下されたい』兩大將の口上は斯やうにおざりまする』と陳述した。

盛政は兩將の心中を忖度して、心に笑みを催した。大岩山の一戰深く驚き、夜逃して英鋒を避けようとしたが、追ひ討ちを虞れたので、使者を以て此掛合をさせたのであると、推量したからであつた。

『兩大將夜陰を待つて出城するとならば、合戰は見合せるであらう。急々馳せ歸つて、今宵初夜を限りに退城せよ、若し時刻移るに於ては、八方より攻めかゝり、一人も洩さず討ち取ると、嚴度申し傳へい』

嚴重に申し渡されると、基次は手を擧げて支へながら、

『何しに御違約しませう、必ず御氣遣には及びませぬ。但し斯やうに大事に押寄せられ、睨み合ふて空しく時刻を移す時は、他の砦にて疑念生じ申しませう。されば、紙玉、或は丸なしの鐵砲を放ち合ひて、夜を迎へる事を仕りたいと、兩大將の所望おざりまする』と申し出る。

盛政は呵々と笑ひながら、

『紙玉、丸なしなど、烏滸の鐵砲越前勢け所持仕らず、されば實丸よりは玉なしでも、紙玉でも、勝手にドン／＼放たせられい、當方には楯竹束を用ひず、鬨を擧げて其に應じ申さう』と返答に及んだ

入院隨意　京城南大門通三丁目（鈴木商店橫入る）
胃腸病院
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

新刊紹介

▲新天地（十二月號）本號より裝紙の體裁も變じてあつさりとなりたる處大に可し口繪は京城神社の御大典奉祝及大典に關する京城市中其他の催しもの明なる寫眞版あり社說には在鮮邦人の意氣と勘助中福德九郎氏の朝鮮統治論欄何將軍の新設師範商戊地の配置風諭樓主人の次の朝鮮總督を始め其他朝鮮に關する記事豐富社會部記事に於て[illegible]京城藝妓評判、京城紳士の遊び振、驚つけた女朝鮮へ來る醜人等面白きもの多く[illegible]合せ得たるものと云ふべし（京城花園町新天地社二十五錢郵稅一錢五厘）

▲朝鮮及滿洲（十二月號）口繪は大典當日の京城及奉祝の賑と朝鮮實業家大會の鮮明なる寫眞版あり支那問題は帝國飛躍の好[illegible]朝鮮と浪人高綜經營概論を始め知名人士の朝鮮滿洲に關する有益記事豐富にて軟派にはチンドル探し、御用商人と用度係の用度、京城の會社商店と其取引狀態等見るべきもの多きり

▲鮮公論（十一月號）口繪には大典奉祝記念大會、京城記者團觀視會、京城乘馬大會、人物、政黨選舉等の鮮明なる寫眞版あり、[illegible]の朝鮮大典の時、牛島伯の[illegible]朝鮮總督政治の秘話及び[illegible]人物評論は[illegible]も載せ[illegible]（京城太平町二丁目朝鮮公論社二十五錢郵稅一錢五厘）

告

記
墳墓管理人原籍氏名　死者
岡山縣兒島郡鉾立村　死産兒
井上ユカ
長崎縣西彼杵郡浦上山　島鬪次郎
里
鹿兒島縣川邊郡東加世　死産兒
村川口サト
東京市芝區愛宕下町磯　同
貝兼古
長崎市舘內吉見シメ　同
小倉市鳥平田淵タマ　同
三重縣多氣郡西外城村　高谷ヨネ
藪內長五郎
東京市牛込區赤城下町　兒玉五郎
兒玉秀一郎
岡山縣赤磐郡山方村中　鬪山定子
原與市
愛媛縣松山市柳井町日　日詰藤子
詰忠亮
福岡縣企救郡曾根村　吉原ヨシノの
坂井茂　死産兒
東京市小石川區大塚町　死産兒
安達治助
大分縣北海部佐賀關町　死産兒
關トヨ
本籍不詳松本庇挺　死産兒
宮城縣名取郡岩沼町佐　佐々木喜太郎
々木コシ
長崎市伊良林町　杉本朝子
杉本トク
不詳　白橋精一
同　服部ヨシ
以上

舊吉野町墓地大正三年三月二十九日居留民團告示第十六號ヲ以テ廢止セラレタルニ付今回京畿道高陽郡龍江面京城府阿峴里墓地ニ改葬スヘキニ依リ左記關係者ハ來ル十二月十五日迄ニ當府內務係ニ申出ラルヘシ

京城府

◉正月室內裝飾用　美術油繪額面　月賦提供
▲新春の座敷を飾るに好適なる現代洋畫家揮毫の油繪を高尙優美なる金縁額面入りとし最も低廉なる會費を以て希望者に頒つ
▲申込者は最初現品を送付し會費は甲七圓乙五圓を七回月賦拂の便あり
■年末年始の贈答品にも最も妙
ハガキで申込次第見本附規則書進呈
東京芝區白金臺町一　日本新美會（電話芝四八八二番）

目ぐすりの中の目ぐすり
登錄商標　岸田目藥　精錡水

二大特長　品質卓越　最も廉價
三田玉ゴム製造合名會社製造
發賣元　大阪高麗橋　飯田商店

▲御婦人方へ▼

白色美顏水

▲秘密を一つ
お傳致しませう。皆樣はよく、少しも態とらしい所がなく極く自然的にすつきりと美しく氣持の快いお化粧顏の人を御覽になるでせう。そして餘程お化粧上手の方が何か秘密な遣方で行らないでは彼あは行かぬとお思になるでせう。所が案外にも彼程の化粧が實に努なく出來る時節と成ました。彼は有名な桃谷研究試驗部で、顧問の丹波

▲山本両博士
の下に技師の三藥學士が完成した白色美顏水でお化粧したのです。さあ直試して御覽なさい。實に努なく實に見事に全て生れつき色が白い人其儘の白さに附ます。一體

▲從來の婦人
のお化粧は白ペンキの樣に白いか何となく薄黑いか斑かで、凡て態とらしいか又は充分に綺麗に行かないので、婦人の苦痛の種になつてゐたのですが、白色美顏水で此

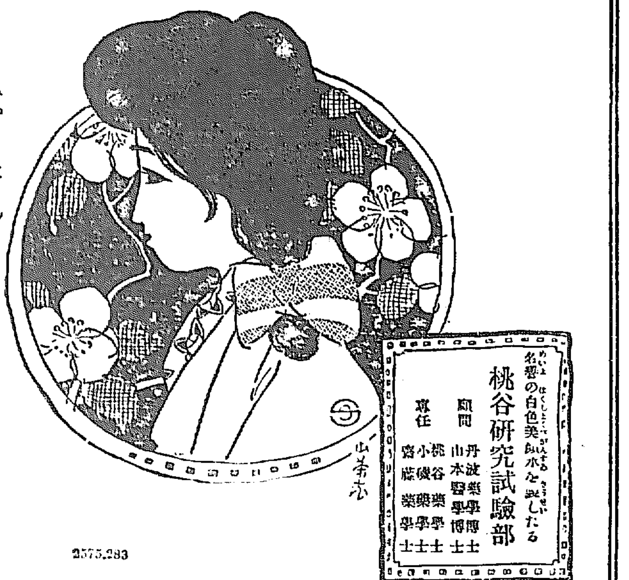
▲心配が滿足
に解決されましたので、婦人方の喜び此上なく、忽ち大變な人氣を引起したのです。此品は一寸見た處は水白粉の樣ですが、併しお使になれば直お分りの通り、決して

▲普通の水へ
白粉を溶込んだ樣なものでなく、專門學者が新に發見した美容成分で、從來使はれた事の無い、美容上の效力の極く强い原料へ、或特殊の白粉を溶込んで製したもので

▲白粉の生命
こいふべき被覆力が强く、光澤の極美しく、色の淸淨純白な、質の極微い原料こ新美容成分の不思議な作用で、生れつき色が白い樣につく化粧美のみならず更に生地の

▲皮膚の營養
こなり素顏の美を增す特色が在ます。自然的な本統に美しい化粧の途は此品で始めて開かれました。專任の三藥學士も、是は確に成功だ、こ言つて自信を示してゐます

百人が百人とも
コンな便利なものはないこ
お喜びになる



名聲の白色美顏水を製したる
桃谷研究試驗部
顧問　丹波藥學博士　山本醫學博士
專任　桃谷藥學士　小俣藥學士　齋藤藥學士

2575.283

醫學博士　室谷修太郎先生述（萬戶必携の家庭參考書）
家庭衛生及び救急法
最新刊　一名　醫者のくるまで　定價金五錢　郵稅二錢
內容　一、個人衛生　二、傳染病豫防　三、凍傷　四、火傷　五、熱病　六、狂犬病　七、中毒　八、假死（人工呼吸法種々の假死に於ける手當喝病、電擊、縊首、絞扼、溺水、埋沒、凍冱、毒氣吸入（炭酸瓦斯、燈用瓦斯中毒、泥沼氣）、初生兒　九、人事不省　十、卒倒　十一、痙攣　十二、異物嚥下　十三、外傷、劍傷骨折、脫臼及十四、家庭必備の醫療具及藥品
室谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました「家庭に於ける衛生及救急法に就ては申上くることは仲々に多いが大要を記載することにした、幸に置一讀を賜り各自衛生の保全に勉めらるゝなれば此の上もない、猶豫め知り御かれたとて別段御損にもならない事かと思ふ」醫者の來るまで素人の救急法は本書を置いて他に之れに優るものはない、室谷先生の御話の一端を拜借して萬戶必携の珍寶こして江湖の家庭にお勸め致します
發行所　京城大平通一丁目　振替口座京城三〇〇番　京城日報社代理部

寒さ時は
まして
◎無病の健康者と雖も病は罹り安すし
病后◎産後及虛弱の方には次亞燐が必要
衰弱の極に達せぬ中
早く次亞燐服用あれ

○各藥店にあり
▲定價・小瓶五十錢・中瓶九十錢・大瓶一円五十錢

目錄送呈
◎完全無比の實用經濟　覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製　眞正十四金ペン先付　最新インキ止式

●諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候●
朝鮮總代理店
京城本町二丁目（電話四五番）振替京城二五六番
釘本藤次郎本店

最上醬油
特許機械製
ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年朝鮮物產共進會
金牌受領
釀造元　仁川港
日本醬油株式會社

商況
大阪三品
四月限　五月限
[illegible]
大阪株式特電
下關期米
[illegible]
後場寄付　止高値　安値
十圓七十六錢　十圓七十二錢　十圓七十八錢　十圓七十錢
賣買取組高
十二月限　五千石
一月限　三萬四千二百五十石
二月限　二萬六千八百五十石